

コミュニティ・スクール 実践集2021



令和4(2022)年3月
名張市教育委員会

はじめに

名張市では、令和2年度に市内全ての学校が学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）となったことを踏まえ、令和3年3月に策定した「第二次名張市子ども教育ビジョン後期計画」の中に、「名張版コミュニティ・スクールの推進・充実」を重点取組の一つとして掲げて取組を進めています。

本年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、三重県や名張市にまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発令されるなど、長期的な対応が求められました。本市としては、持続的に児童生徒等の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減したうえで、市内全ての小中学校を一斉に臨時休業とはせずに、学校運営を継続しています。昨年度に引き続き、教室内のソーシャルディスタンスの確保や児童生徒の健康観察、下校後の清掃・消毒作業等の対策を講じるほか、大人数で集まる行事や学習の自粛や延期など、学校は様々な対応を実施してきました。また、感染拡大防止対策として、地域ボランティア等による学校支援の縮小や、地域とともに協働して行われる行事等の地域貢献の場づくりも、制限あるいは中止されてきた現状が多くあります。しかし、このような中でも、子どもの安全・安心のため学校内外の環境整備や登下校の見守りなど、地域住民や保護者の皆さまには可能な範囲で取組を進めていただいています。

「今だからこそ、気付けることがある」、「今だからこそ、できる教育活動がある」、「今だからこそ、鍛えられる力がある」と信じて、学校と家庭、地域が互いに連携・協働するコミュニティ・スクールの推進を図ることが重要と考えています。

この「コミュニティ・スクール実践集2021」は、本年度のコミュニティ・スクールの特色ある実践を集めたものです。コロナ禍の今だからこそ、様々な工夫をしながら実施した各校の実践に学び、来年度以降の取組をどのように実施していくのかをともに考えていきたいと思いをします。

令和4年3月

名張市教育委員会

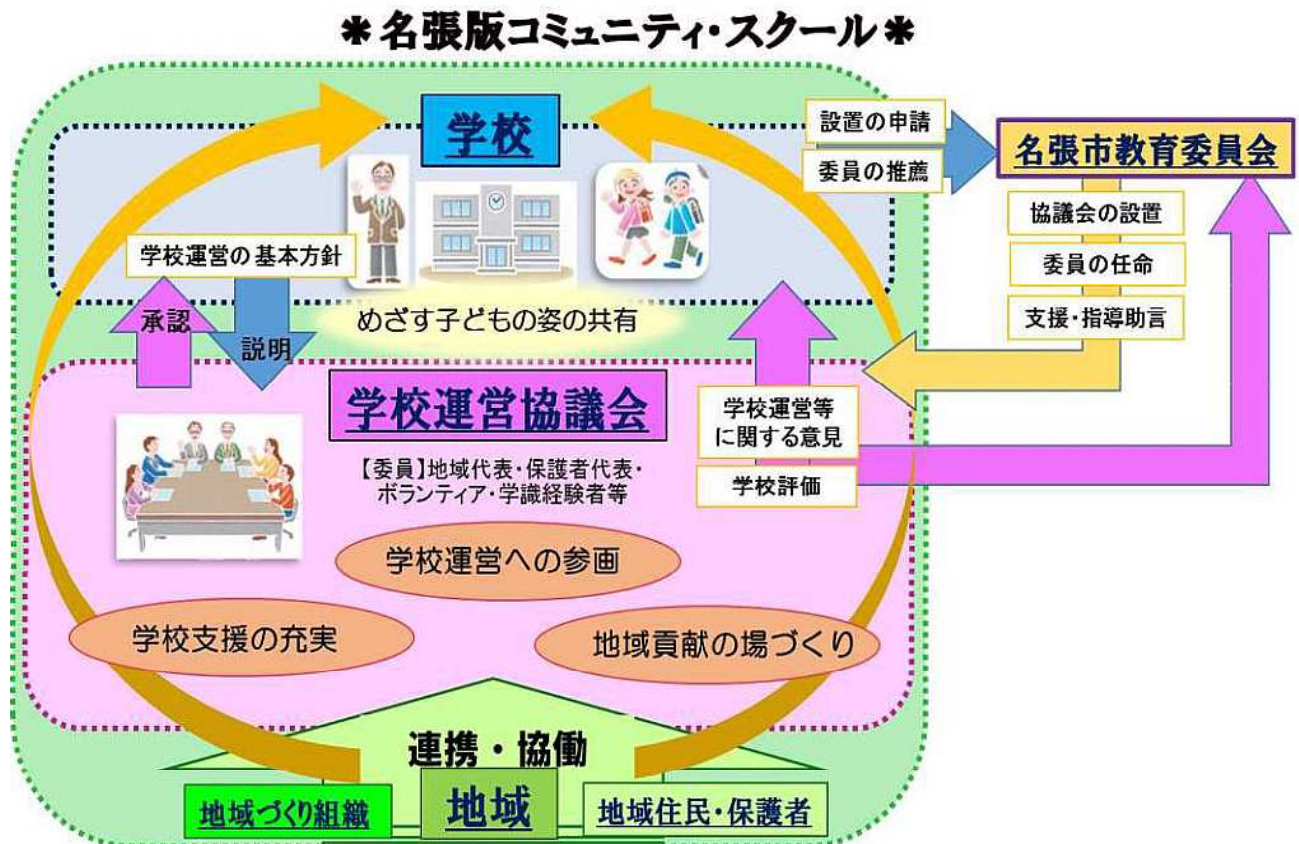
目 次

| | | |
|------------------------------|-----|----|
| 名張版コミュニティ・スクール | ・・・ | 1 |
| コミュニティ・スクールからスクール・コミュニティへ | ・・・ | 5 |
| 名張版コミュニティ・スクールの取組 | | |
| ■名張小学校 学校運営協議会 | ・・・ | 8 |
| ■蔵持小学校 学校運営協議会 | ・・・ | 11 |
| ■薦原小学校 学校運営協議会 | ・・・ | 14 |
| ■比奈知小学校 学校運営協議会 | ・・・ | 17 |
| ■美旗小学校 学校運営協議会 | ・・・ | 20 |
| ■箕曲小学校 学校運営協議会 | ・・・ | 24 |
| ■錦生赤目小学校 学校運営協議会 | ・・・ | 27 |
| ■桔梗が丘小学校 学校運営協議会 | ・・・ | 30 |
| ■桔梗が丘南小学校 学校運営協議会 | ・・・ | 33 |
| ■桔梗が丘東小学校 学校運営協議会 | ・・・ | 37 |
| ■すずらん台小学校 学校運営協議会 | ・・・ | 40 |
| ■梅が丘小学校 学校運営協議会 | ・・・ | 43 |
| ■百合が丘小学校 学校運営協議会 | ・・・ | 46 |
| ■名張中学校 学校運営協議会 | ・・・ | 49 |
| ■赤目中学校 学校運営協議会 | ・・・ | 54 |
| ■桔梗が丘中学校 学校運営協議会 | ・・・ | 57 |
| ■北中学校 学校運営協議会 | ・・・ | 59 |
| ■南中学校区（つつじが丘小学校・南中学校）学校運営協議会 | ・・・ | 63 |
| 付録：コミュニティ・スクールだより | ・・・ | 69 |
| 広報なばり令和4年2月10日号 | ・・・ | 76 |

名張版コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールは、未来を担う子どもたちの豊かな成長のために学校・地域・保護者が連携・協働し、それぞれが、自分たちに何ができるか当事者意識をもって子どもたちの成長を支えていく仕組みです。子どもを取り巻く環境は今後、大きく変化していくものと考えられ、これからの時代を生きる子どもは、一人ひとりが多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的にたくましく切り拓いていく力や人と繋がり、共に学び合い、支え合っ
て豊かな未来の社会を築いていく力が求められます。

名張市では、市内すべての小中学校が学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）です。名張版コミュニティ・スクールの特徴は、「学校運営」「学校支援」「地域貢献」を3つの柱として取組を進めていることです。それぞれのコミュニティ・スクールでは、学校・保護者・地域住民が、めざす子どもの姿を共有し、地域の子どもの「学び」と「育ち」に係わる当事者として、連携・協働した取組を実施しています。



【名張版コミュニティ・スクール 3つの柱】

① 学校運営への参画

市内のコミュニティ・スクールでは、学校と保護者や地域の皆さんが互いに知恵を出し合い、学校運営へ意見を反映させています。学校運営協議会においてめざす子どもの姿を共有し、課題解決等に向けて教育課程・授業改善・学校評価等の学校運営に参画しています。小中一貫教育カリキュラムである「英語教育」や「ふるさと学習『なばり学』」「キャリア教育」実施への協力など、小中一貫教育の教育活動へも参画しています。

学校運営方針の承認



熟議



ワークショップ形式の熟議



授業公開



小中一貫教育への参画



学校課題についての熟議



② 学校支援の充実

名張市では、平成17年度から学校支援ボランティアの登録制度を設け、平成20年度以降、国の学校支援地域本部事業を受けるなど、学校支援の仕組みを構築してきました。

コミュニティ・スクールの設置により、めざす子どもの姿の実現のための学習支援・部活動支援・環境美化・安全確保支援等の学校支援体制がさらに充実してきています。

学 習 支 援



印刷業務支援



環境整備支援



校内環境美化支援



読み聞かせ



清掃活動支援



あいさつ運動



登下校見守り支援



学校図書館環境整備



③ 地域貢献の場づくり

名張市内それぞれの地域づくり組織では、将来計画である「地域ビジョン」を策定しています。「地域ビジョン」には、地域づくり活動への参画や地域の担い手づくりに向けた、さまざまな活動が盛り込まれています。

コミュニティ・スクールでは、「地域ビジョン」を共有し、地域を愛し地域を担う人づくり、地域の絆づくりのため、まちづくり活動への参画や地域と学校合同の防災訓練、地域の清掃活動など、学校の特色を生かした地域貢献の場づくりを行っています。子どもたちが今住んでいる地域のことを知ることは、地域を担う人づくり、絆づくりにつながるとして、地域学習へも積極的に取り組んでいます。

まちづくり活動への参画



生徒と地域住民代表の熟議



総合防災訓練



防災ワークショップ



米づくり体験活動



地域学習



交通事故防止への取組



地域学習支援



地域フィールドワーク



コミュニティ・スクール から スクール・コミュニティへ

コミュニティ・スクールの取組の中で、学校は、地域住民の力をお借りし、地域学習に取り組んでいます。子どもは、農業体験や行事への参加を通して、ふるさとの自然や産業、歴史、文化等に触れるとともに、その学習に係わっていただいた地域の方とふれあい、絆を深める機会を得ています。これからの地域を支える子どもが、小中学生時代に地域の方々と触れ合い、様々な経験をすることは、少子・核家族化が進み異年齢とのコミュニケーションの機会が減っている子どもにとって、とても有意義な機会となっています。



また、地域の方々は、学校教育活動に参画し、ボランティアとして学校支援に携わることで、楽しみややりがいを感じています。さらに、子どもや教職員は、地域の方々を支えられていることを実感し、感謝の気持ちを伝えることができます。卒業した子どもの中には、「地域の方々のように自分も誰かの役に立ちたい」「地域に貢献したい」という思いを持っている子どももいます。学校という場において、このような温かな交流がもたれていることは、子どもの豊かな心の醸成のためにも地域の人づくりのためにも好影響を与えるものと考えます。

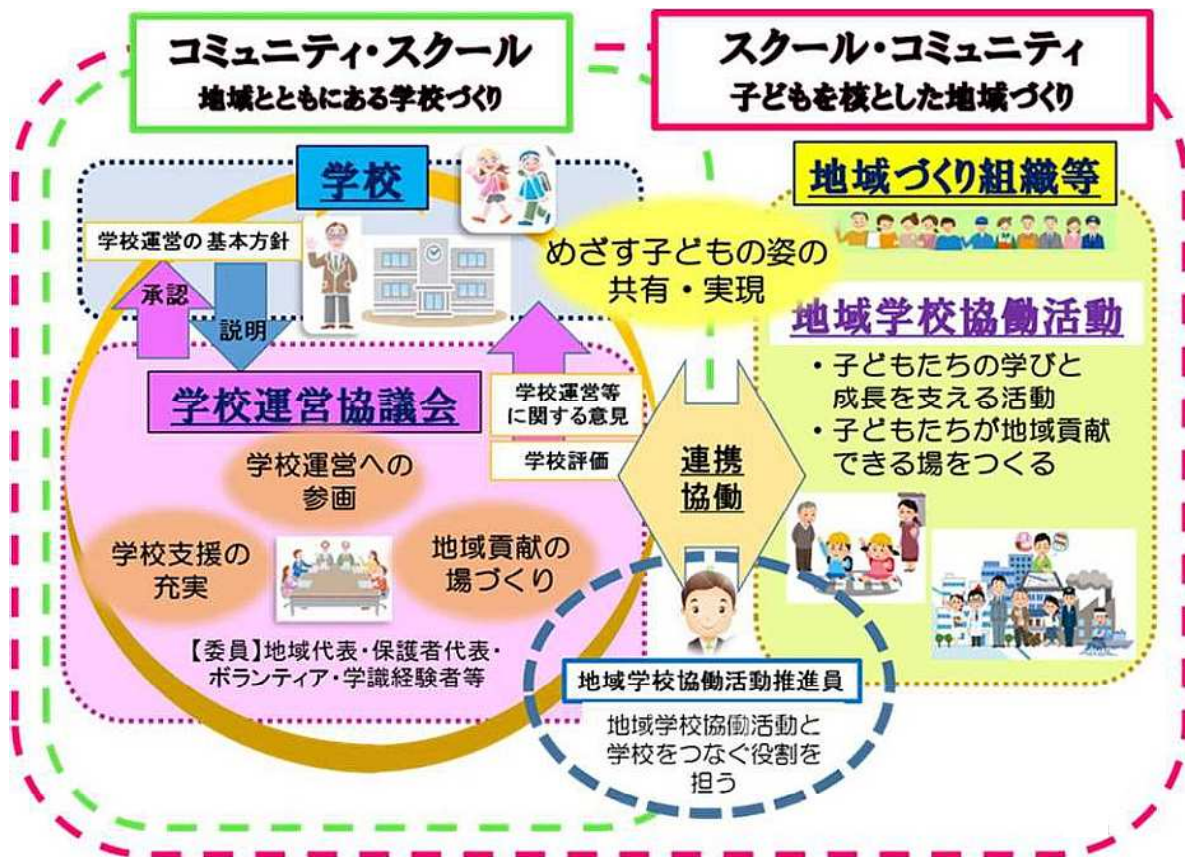


少子高齢化の進行による人口減少社会とともに、グローバル化や急速な技術革新に伴い予測不可能で変化の激しい時代が到来しています。未来を担う子どもの豊かな成長のためには、学校と保護者・地域住民が連携・協働した取組を充実させていくことが必要です。

本市では、学校が主体となって行う教育活動とは別に、地域づくり組織等が学校と連携・協働して「地域学校協働活動」を推進し、コミュニティ・スクールから発展させた子どもを核とした地域づくりである「スクール・コミュニティ」の体制を構築していきたいと考えています。

【スクール・コミュニティとは】

スクール・コミュニティとは、子どもを核とした地域づくりのことです。地域づくり組織等では、これまでも、子どもの健やかな育成をめざした様々な活動を実施していただいています。スクール・コミュニティは、これら子どもたちの学びと成長を支える活動や子どもたちが地域貢献できる活動（※地域学校協働活動）を学校運営協議会と協働して、より充実していこうとする仕組みです。地域学校協働活動を学校運営協議会と連携・協働しながら一体的に推進し、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを持続発展させていこうとする子どもを育成し、地域の活性化をめざします。



【地域学校協働活動とは】

地域学校協働活動とは、「子どもを核とした地域づくり」をめざし、地域住民・保護者等の参画を得て実施する、子どもたちの学びと成長を支える活動や地域貢献活動のことです。

地域学習・職場体験学習

- ◆「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする活動。
- ◆地域の産業についての職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習等。

地域の行事等への参画

- ◆地域の行事、イベントへのボランティア参加・企画からの参画。
- ◆伝統行事での伝統文化・芸能の発表。
- ◆地域の防災訓練への参画等。

地域未来塾

- ◆中学生等を対象に、教員OBや高校生・大学生等などの地域住民の協力によって行う学習支援活動。

学校に対する様々な協力活動

- ◆登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、本の読み聞かせ、授業補助や部活動の支援、企業等の教育プログラムの提供等。

放課後子供教室

- ◆地域住民の参画を得て、放課後や休日等に行う、学習や体験・交流といった様々な活動。

家庭教育支援活動

- ◆家庭教育について、保護者が学び合う機会づくり等。



名張版コミュニティ・スクールの取組

名張小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年6月19日（土）10時～11時〉

- ① 委嘱状交付
- ② 会長・副会長の選出と学校運営協議会組織について
- ③ 学校経営計画・年間行事予定について
- ④ コミュニティ・スクール推進計画について
- ⑤ 名張中学校区小中一貫教育について

【第2回】学校運営協議会〈令和3年10月16日（土）10時～11時30分〉

- ① コミュニティ・スクールの推進について
 - ・児童の様子と課題（学調の結果から）
 - ・児童の名張への思い（4年生アンケートから）
 - ・2年生校区探検について
 - ・名張学園祭への参加について
- ② 名張中学校区小中一貫教育について
- ③ 地域協働の取組について（名張市総合防災訓練）
- ④ 名張小学校創立150周年記念事業について

【第3回】学校運営協議会〈令和4年3月8日（火）予定 → 書面開催〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 令和3年度の学校評価書について
- ③ 来年度の学校運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学力・学習状況調査、学習や生活についてのアンケートをもとに、子どもの姿について熟議を行いました。
- ② 小中一貫教育のグランドデザインを示し、取組について周知を図りました。
- ③ 保護者の学校教育に関するアンケート結果について協議し、意見をいただきました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校運営協議会評価書」としてまとめました。



①熟議

(2) 【学校支援の充実】

- ① 地域ボランティアコーディネーターに活動の調整をいただきました。ボランティア室、ボランティアールール等の一層の活用や充実を図りたいと考えています。
- ② 新型コロナウイルス感染症への対策を講じつつ、本の読み聞かせ、登下校の見守り、校区探検の付き添い、入学説明会の受付等の学校行事支援、環境整備の業務支援等の可能なボランティア活動を実施いただきました。
- ③ 地域協議会にて学校生活支援ボランティアの募集を呼び掛けていただき、拡大を図っています。



②校区探検の付き添い



②本の読み聞かせ

(3) 【地域貢献の場づくり】

- ① 児童アンケートの子どもたちの声を学校運営協議に反映しています。
- ② 2年生の「校区探検」では、いずれの場所でも地域の人から説明していただく機会を設け、地域の良さを大人から子どもへ伝える時間としました。そのことにより、地域の人には子どものことを知ってもらおうとともに、子どもたちには、地域の良さをより実感できるようにしました。名張を愛し、今後の名張市の活性化の一翼を担わせたいと考えています。
- ③ 名張学園祭に本校5、6年生児童の有志が参加し、学習の一端を発表しました。
- ④ 地域にある木津川上流河川事務所の方を招いた防災学習を実施しました。
- ⑤ 名張市総合防災訓練において、まちづくり協議会と連絡・連携ができました。



②校区探検



②校区探検

3. 成果と課題

【成果】

◇学校運営協議会設置3年目となり、組織的な位置づけが整理され、活動の趣旨が分かりやすくなってきました。しかし、校長が代わったため、あらためて経営方針や思いを伝えることから始めました。思いだけでは伝わりにくいと考えましたので、2年生の校区探検の調整役として、校長自ら地域に出向き、様々な人と会話をする中で、思いを伝えることをしました。地域の方は協力的で、学校の取組に対しご理解・ご支援いただくこ

とができました。

- ◇名張地区まちづくり協議会の地域ビジョン作成のために実施した地域おこし協力隊の長谷川さんによる4年生児童のアンケートから、子どもたちの名張に対する思いの一端を垣間見ることができ、学校運営協議会に子どもの生の声を伝えることができました。
- ◇様々な祭りが中止になる中、大勢の児童が「名張学園祭」に参加できたことにより、学園祭を盛り上げることの一翼を担うことができ、地域貢献ができました。
- ◇学校経営方針や児童の状況などについて発信し、子どもたちの育成について多様な視点からの示唆や応援をいただくことができました。

【課題】

- ◆地域の協力体制が整ってきたので、地域協働の目指す姿をより具現化し、本校の課題解決に向けて、継続した取組ができる運営を工夫する必要があります。
- ◆本年度も、新型コロナウイルス感染症への対応により、様々な計画を実行することに手間取ってしまいました。今後は、より有意義な取組を検討・工夫し、学校運営協議会設置の趣旨を実現できるように努めていきます。

4. 学校運営協議会の組織図



蔵持小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年5月14日（金）15時～16時30分〉

- ① 会長・副会長選出
- ② 令和3年度学校運営について
- ③ 今後の活動方針
- ④ 情報交換

【第2回】学校運営協議会〈令和3年10月29日（金）13時45分～16時30分〉

- ① 授業参観・児童の様子交流
- ② 学校評価アンケート結果について
- ③ 全国学力・学習状況調査の結果について
- ④ 熟議「学校と地域が一緒にやれることは」

【第3回】学校運営協議会〈令和4年2月25日（金）予定 → 書面開催〉

- ① 授業参観・児童の様子交流
- ② 本年度の学校運営の成果と課題について
- ③ 桔梗が丘中学校区小中一貫教育について
- ④ 令和3年度学校評価書について
- ⑤ 来年度の学校運営について
- ⑥ 第2回熟議を受けて「学校と地域が一緒にやれることは」次年度の取組

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観後、授業改善に向けて意見をいただきました。
- ② 「学校と地域が一緒にやれることは」について、学校運営協議会委員・教職員(計12名)が熟議を行いました。
- ③ 児童・保護者・教職員アンケート結果及び全国学力・学習状況調査の結果からみえてきた課題について共有し、解決策について協議しました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



②熟議



③協議



(2)【学校支援の充実】

- ① P T A環境整備作業へ学校運営協議会委員及び地域ボランティアが参加しました。
(新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、本年度はP T A作業を中止)

- ② 学校運営協議会委員やボランティアコーディネーターの呼びかけにより、のべ 29 人の方に運動場除草・植木の剪定、施肥作業をしていただきました。
- ③ 米作りの体験授業(田植え、稲刈り、しめ縄づくり)、さつまいも掘り、地域の施設見学等にボランティアとして地域の皆さんに参画していただきました。



②運動場除草



③田植え



③しめ縄づくり



③さつまいも掘り

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 蔵持市民センター祭り展示会に児童の絵画・書写の作品を出品しました。
- ② 蔵持地区まちづくり委員会 安全・防災部会主催の「地域防災教室」に4年生児童が参加しました。
- ③ 「人権の花」運動において育てた花の鉢やプランターを、人権メッセージを添えて、地域の公民館や集会所、市民センターや郵便局、こども園等に贈呈しました。
- ④ 登下校の安全確保や環境整備、米作りや施設見学等でお世話になったボランティアの方々に、学期ごとにお礼の手紙を届けました。



①市民センター祭り展示



②地域防災教室参加



③「人権の花」運動贈呈式

3. 成果と課題

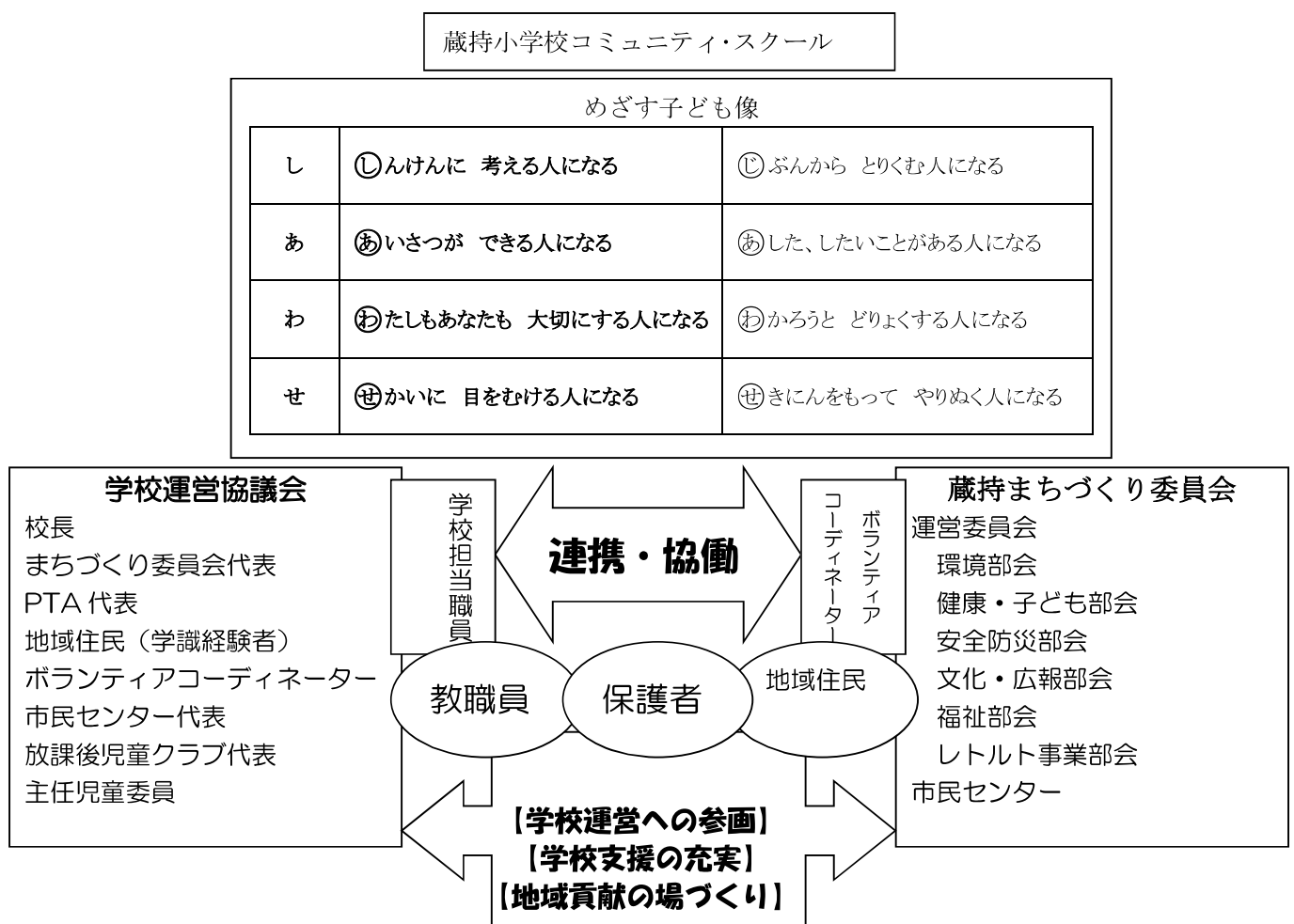
【成果】

- ◇学校運営について、幅広い視点での理解ある意見や示唆をいただけたことで、子どもたちの「学び」と「育ち」に係る連携・協働した取組を進めることができました。
- ◇めざす子どもの姿の共有・実現のための熟議を行うことにより、学校運営の当事者としての個々の意識の高まりがみられました。
- ◇これまでの地域からの子どもたちの活動への支援について、改めて学校運営協議会の活動として整理し直すことにより、支援の充実・発展につなげる仕組みづくりにつなげることができました。

【課題】

- ◆学校支援ボランティアの高齢化等に対応するため、人材の確保とともに、新たな人材発掘のための仕組みの構築を図っていききたい。
- ◆熟議の内容や方法等、より効果的で深まりのあるものにしていききたい。
- ◆運営委員や地域の方が児童とふれあう機会を設定し、学校を身近に感じてもらえる体制づくりや、学校から地域へ貢献する場を模索していききたい。

4. 学校運営協議会の組織図



薦原小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年6月10日（木）9時40分～11時30分〉

- ① 設置証交付、委嘱状交付
- ② 授業参観
- ③ 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ④ 学校運営の基本方針・教育課程等について
- ⑤ 3部会制について
- ⑥ 意見交流会

【第2回】学校運営協議会〈令和3年11月25日（木）10時45分～12時30分〉

- ① 授業参観
- ② 児童・保護者アンケートの考察
- ③ 北中校区「小中一貫教育の推進について」
- ④ 学力調査より
- ⑤ 部会報告【学校支援部・地域協働部】
- ⑥ 熟議【児童の下校の見守り 地域としてできること】

【第3回】学校運営協議会〈令和4年3月4日（金）10時～11時30分〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 「令和3年度の学校評価書」について
- ③ 来年度の学校運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて意見をいただきました。
- ② 学校の課題について共有し、解決策について熟議を通してご意見をいただきました。
- ③ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



①授業参観



②熟議

（2）【学校支援の充実】

- ① 学校支援ボランティアの方に、運動会開催前に運動場の草引き作業や池の清掃に協力いただきました。
- ② 学校支援として、高学年の家庭科の授業や中学年の算数等の授業に入っいただき、

サポートいただきました。

- ③ 米づくりの学習として田植え・稲刈り・田んぼの生き物調査に地域ボランティアの方に協力していただきました。
- ④ 校外学習への引率をしていただきました。1年生の学校林での学習の引率や全校児童集会花*花ウォークラリーでは班毎に一緒に歩いていただきました。
- ⑤ 図書ボランティアの方に、読み聞かせをしていただきました。
- ⑥ 児童の登下校の安全確保として交差点での朝の見守りや薦原公園での下校の見守りとして地域の方々の協力を得ることができました。
- ⑦ ボランティアの集いを開催することができました。



①草引き作業



②授業支援



④学校林での学習の引率



④花*花ウォークラリー

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① ESD の活動を他の地域に発信することで、自然と共存する薦原地域の良さを感じてもらいました。(ギフチョウ観察会を地域と協働で開催)
- ② ギフチョウ保護に関わり、産卵調査や食草のカンアオイ保護のための下草狩りをギフチョウネットワークと地域との共催で実施できました。
- ③ 4年生児童とギフチョウの食草「カンアオイ」の移植し、保護活動を進めました。
- ④ 薦原まちの保健室と協働し、認知症サポート養成講座を開きました。
- ⑤ 「子どもを守る家」の今後の活用について議論する場を持つことができました。



①ギフチョウ観察会



③「カンアオイ」の移植
(保護活動)

3. 成果と課題

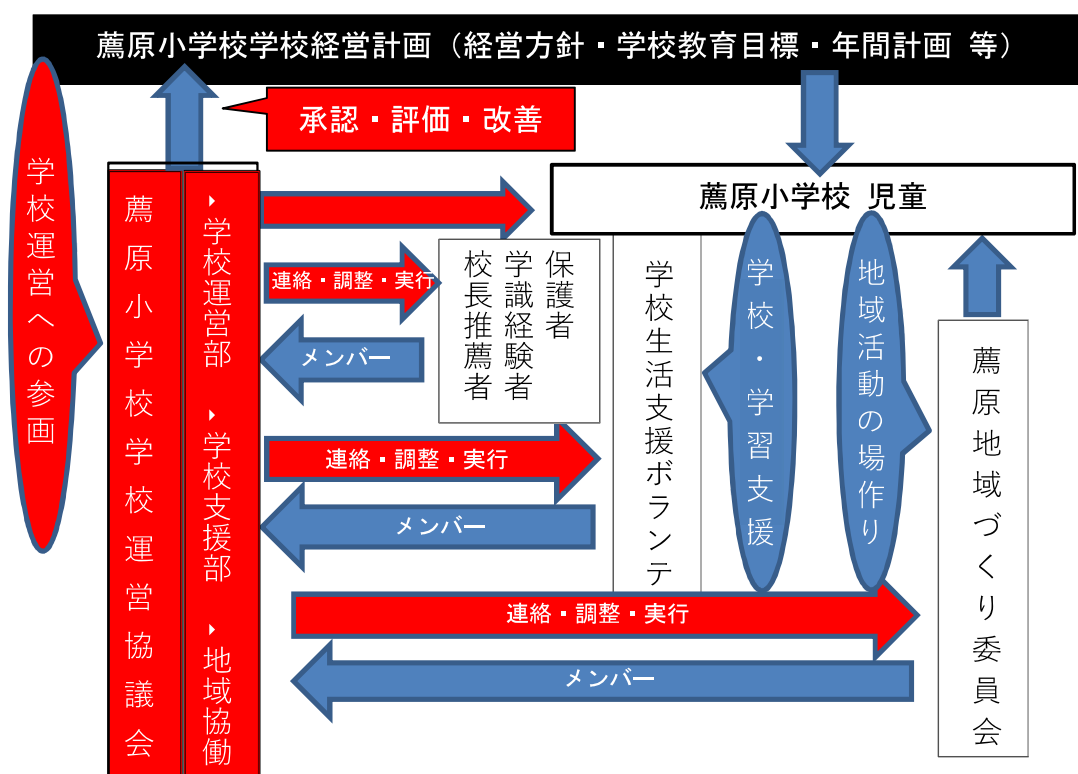
【成果】

- ◇学校運営の方針をご理解いただいたことにより、成果だけではなく、課題となっていることにも、これまでよりも広く理解していただくことができました。
- ◇ギフチョウの保護に向け、市民団体と地域が協働した取組を継続することができました。
- ◇3部会制の組織を確立したことで、活動がより機動的になり、取組に広がりがありました。特に学校支援部の学習支援の活動には、多くのボランティアの方々にかかわっていただくことができました。
- ◇アプリLINE を利用したボランティア間の情報共有は、効果的でありました。
- ◇若い世代の方にも委員になっていただき、新たな視点で提案してもらえることが多くありました。
- ◇会議の前後に部会長会議を開いたことで、協議会の内容が焦点化され、活動に深まりが見られました。
- ◇「ボランティアの集い」を契機に、これまでのボランティア登録名簿を整理することができました。

【課題】

- ◆コロナウイルス感染の予防をしつつ、地域ボランティアの活動が低調にならないよう工夫していく必要があります。
- ◆学校林での活動中に、ボランティアの方がハチに刺される事故が発生しました。屋外での活動は、十分な事前準備や下見、また複数での引率が必要と考えます。
- ◆支援をしていただく方が限られているので、保護者も含め新たなボランティアを広く募集していきたい。

4. 学校運営協議会の組織図



比奈知小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年6月11日（金）9時～10時〉

- ① 授業参観
- ② 委嘱状交付
- ③ 会長・副会長の選出と学校運営協議会組織について
- ④ 学校経営計画・教育課程等について
- ⑤ 今後の学校運営協議会について

【第2回】学校運営協議会〈令和3年11月19日（金）9時～11時〉

- ① 授業参観
- ② 学校及び児童の様子について
- ③ 学校アンケート（児童）結果について
- ④ 全国学力・学習状況調査及び、みえスタディチェック結果について
- ⑤ 名張中学校区小中一貫教育の現状について
- ⑥ 学校と地域のかかわりについて
- ⑦ 今後のコミュニティ・スクールのあり方について
熟議（～「自分が好き」と感じられる子どもの育成について～）

【第3回】学校運営協議会〈令和4年2月17日（木）予定 → 書面開催〉

- ① 学校評価について
- ② 本年度の学校運営の成果と課題について
- ③ 「令和3年度の学校評価書」について
- ④ 来年度の学校運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学力・学習状況調査、学校アンケートをもとに熟議を行いました。
- ② 小中一貫教育のグランドデザインを示し、取組について周知しました。
- ③ 地域から子どもたちへの応援・支援〈12月23日（木）終業式〉
ひなちゆめづくり福祉委員会より、児童への応援の意味を込めて『ミニカイロ』をいただきました。
- ④ 保護者の学校教育に関するアンケート結果について、ご意見をいただきました。
- ⑤ 学校評価についてご意見をいただき、「学校運営協議会評価書」としてまとめました。



①熟議



⑤学校評価

(2)【学校支援の充実】

- ① 毎週火曜日・木曜日の黒田道、市民センター前（毎週火曜日）での朝の登校支援
- ② 毎週水曜日の朝の読み聞かせ
- ③ 図書の本の修繕・読み聞かせ
- ④ 学校の環境整備作業
- ⑤ 学期の最初と最後の日における青色パトロール（ひなち地域ゆめづくり委員会安全防犯防災部会）



①登校支援



②朝の読み聞かせ



④環境整備

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 1・2・3年生が比奈知市民センターや比奈知文化センターを訪問し、センター内で開催されている教室を見学したり、交流したりする活動を行い、地域の方とのふれあいを深めました。
- ② なばり学の学習として長瀬・滝之原地区を訪問し、学校運営協議会委員の方にお話を聞き学習しました。その時の様子を、第2回運営協議会において説明していただきました。
- ③ 本年度も地域交流の一環である「クリスマス会」が中止となりましたが、次年度以降、そのクリスマス会に子どもたちが参画することを検討しています。



①地域の施設の学習



②地域学習
(なばり学)



3. 成果と課題

【成果】

- ◇授業参観により、子どもたちの姿を共有することができました。
- ◇学校経営方針や児童・学校の状況等について、熟議を通しながら理解を深め合い、学校経営や子どもたちの育成について多様な視点から理解あるご意見やご理解等いただきました。
- ◇年度途中でしたが、上長瀬区長さんに学校運営協議会に入っていただけたことにより、小学校区全体でそれぞれの立場から子どもたちの成長を主体的に支えていただく体制を整えることができました。地域学習（なばり学）へも今後積極的に参加してもらえると考えます。
- ◇全体で協議する中で、地域課題も出されました。

【課題】

- ◆地域の方々と児童がふれあう場を設定し、学校を身近に感じてもらえる体制づくりや地域へ貢献する場を模索していきたい。
- ◆支援いただく方が限られてきているので、保護者・地域の方々に広く呼びかけていきたい。
- ◆熟議の内容や方法等、より効果的で深まりのあるものにしていきたい。

4. 学校運営協議会の組織図

《構成図》



美旗小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年6月17日（木）9時30分～11時30分〉

- ① あいさつ、委員自己紹介
- ② 会長・副会長の指名
- ③ 会長挨拶
- ④ 議事
 - ・美旗小学校コミュニティ・スクールについて
 - ・美旗小学校 学校運営について
 - ・令和3年度学校経営計画
 - ・地域防災との連携
 - ・教育環境整備
 - ・その他
- ⑤ その他

【第2回】学校運営協議会〈令和3年10月25日（月）9時40分～11時45分〉

- ① 授業参観、業間参観
- ② 会長挨拶、学校長挨拶
- ③ 議事
 - ・子どもたちの様子について
 - ・第1回学校運営協議会以降の進捗状況について
 - ・PTA組織の改革について
 - ・学校生活支援ボランティアについて
 - ・その他
- ④ その他

【第3回】学校運営協議会〈令和4年3月1日（火）9時40分～11時45分〉

※新型コロナウイルス感染症拡大によるまん延防止重点措置期間のため、書面による意見集約と役員による少人数での開催

- ① 会長挨拶、学校長挨拶
- ② 議事
 - ・子どもたちの様子について
 - ・学校評価アンケートについて
 - ・北中学校小中一貫教育について
 - ・次年度活動について
 - ・その他
- ④ その他

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて意見をいただきました。
- ② 学校課題について共有し、解決策について意見をいただきました。
- ③ 地域協働活動について、今年度の交流・活動を確認しました。

- ④ 働き方改革、学力向上、ICTや図書室整備等の教育環境整備について意見をいただき、今後の方針について確認しました。
- ⑤ 北中学校区小中一貫教育について、現状と課題を共有し意見をいただきました。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症対応について、意見をいただきました。
- ⑦ PTA組織改革について、方向性を確認し、前向きな意見をいただきました。



①授業参観



①学校運営協議会

(2)【学校支援の充実】

- ① 学校運営協議会からの発信により、学習支援ボランティアの方に来ていただき、生活科、総合的な学習の時間の授業支援をしていただきました。
- ② 学校環境整備について、ボランティアとして地域の皆さんに協力いただきました。
- ③ 通学路の危険個所の確認をし、対策を検討しました。
- ④ 美旗ならではの地域学習を推進し、土曜授業日を活用したクイズ大会「アタックみはた」を開催するなど、地域の学びを深めました。
- ⑤ 給食で使用する食材について、地域で提供していただき、全校児童参加のいもほり行事などの食教育活動とあわせて支援していただきました。
- ⑥ 夏期における下校時に、暑さ対策として児童にペットボトルの水を配布していただきました。



③通学路点検



④クイズ大会
「アタックみはた」



①⑤授業支援



⑥暑さ対策

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 美旗まちづくり協議会と連携し、取組を支援の場とあわせて実施しています。
- ② 児童へ地域活動を紹介できるデジタルサイネージを設置しました。
- ③ 美旗在住の80歳以上のすべての方に、児童から敬老のお祝いメッセージを送付しました。



②デジタルサイネージ



③敬老のお祝いメッセージ



3. 成果と課題

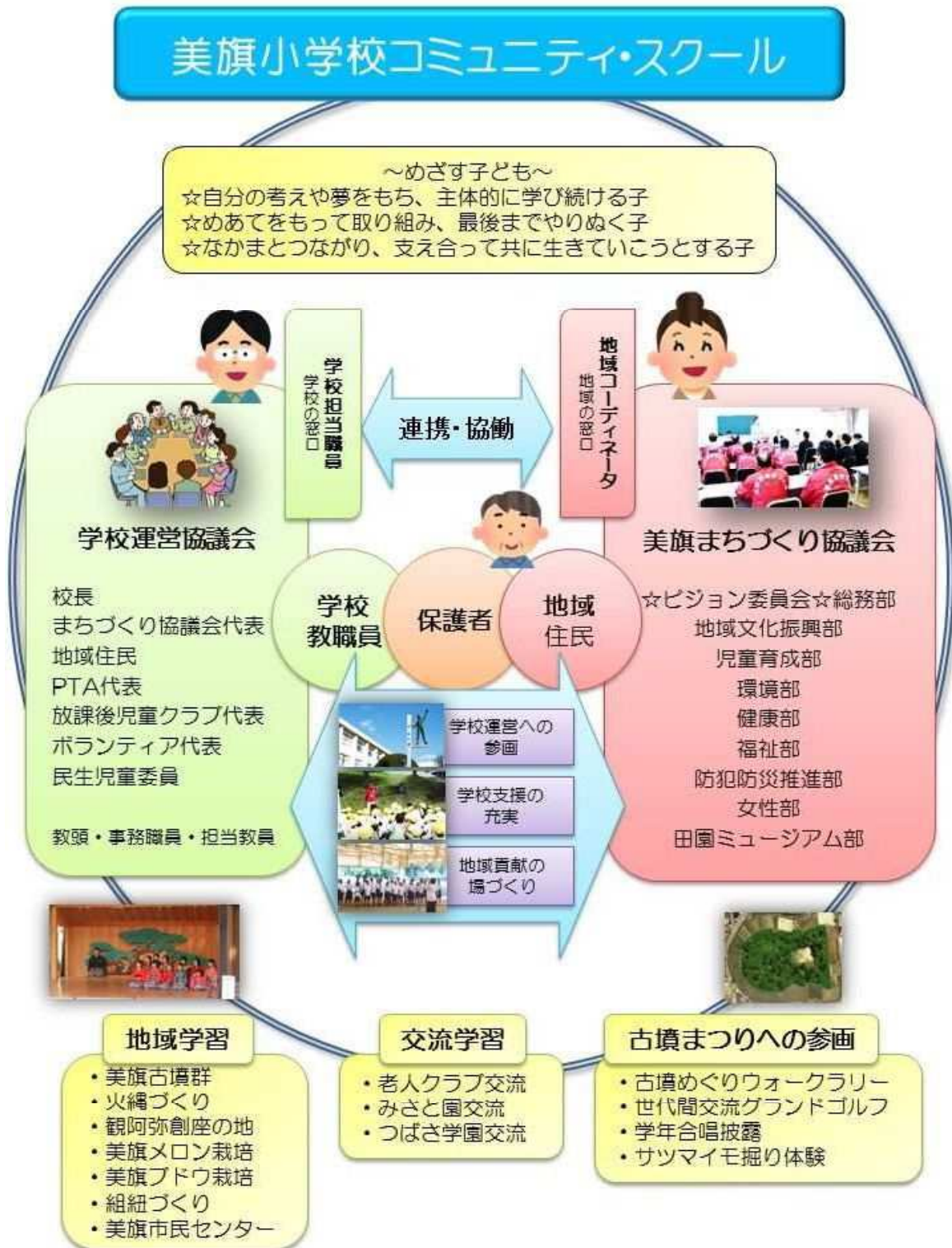
【成果】

- ◇コミュニティ・スクール活動が三年目を迎え、学校と地域の関わりを改めて見直すことができ、土台を確認することができました。
- ◇給食の食材提供・食教育活動を通じ、地域と学校の間を深めることができました。
- ◇コミュニティ・スクールの運営に関する基盤を整備し、学校経営方針や学校運営に関して地域の理解が進み、幅広い視点での意見や示唆をいただきました。
- ◇授業での子ども様子を観察し、地域の方と認識を共有することができました。

【課題】

- ◆地域の活力を学校の教育活動に取り入れるとともに、学校の活力を地域貢献に生かす仕組みをより活発にしていきます。
- ◆地域行事への児童参加、地域協働活動について、「新しい生活様式」に沿った活動を検討していく必要があります。
- ◆地域行事へ学校が授業の一環として参加する検討を行い、連携を密にしていきます。
- ◆学校教職員の異動等により、地域との目標・ビジョンの共有をしっかりと行う必要があります。

4. 学校運営協議会の組織図



箕曲小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年6月15日（火）13時30分～15時30分〉

- ① 委嘱状交付
- ② 授業参観
- ③ 昨年度の取組・評価
- ④ 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ⑤ 学校運営協議会の運営と組織の確認、組織図の検討
- ⑥ 学校運営の基本方針・教育課程等について
- ⑦ 熟議（これまでの課題と今後の方向性について）

【第2回】学校運営協議会〈令和3年11月5日（金）13時15分～15時15分〉

- ① たてわり清掃、5年生の発表参観
- ② 児童の様子、学力・学習状況
- ③ 児童・保護者アンケートより
- ④ これまでの取組報告
- ⑤ 熟議（少人数を生かした学校教育・地域との連携）

【第3回】学校運営協議会〈令和4年2月19日（土）9時～10時30分〉

- ① 授業参観
- ② 児童の様子、本年度の学校運営の成果と課題について
- ③ 「令和3年度の学校評価書」について
- ④ 来年度の学校運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて意見をいただきました。
- ② 「自分のことが好き」と感じられる子どもの育成のために何ができるか、「少人数を生かした学校運営・地域との連携」について、学校運営協議会委員・教職員・保護者（計14名）が熟議を行いました。
- ③ 児童・保護者アンケートの結果からみえてきた課題について共有し、解決策について意見をいただきました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



① たて割り掃除参観



② 熟議

(2)【学校支援の充実】

- ① 「ボランティア交流会」を行いました。ボランティアの方どうしのつながりの場、また日頃活動中での様々な思いを交流する場となりました。
- ② 地域の方々を講師に迎えて昔遊び、陶芸、しめ縄・かかし作りなどの体験教室を実施しました。
- ③ 地域の酒米サポーターさんの協力のもと、学校田での米作りを行いました。感染症対策により全校での取組として見送った部分はありましたが、5年生からの発信により、全校児童への意識付けを図ることができました。
- ④ 夏休みに環境整備（草刈り等）を地域の環境部の方が中心となって行っていただきました。また、通学路の草刈りも行ってくださっています。
- ⑤ 民生委員さんを中心に下校をサポートしていただいています。
- ⑥ 読み聞かせや校外学習の引率、栽培活動の支援をいただくことで、児童の学びが深まっています。



③もちもちの日



④環境整備



②体験教室

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 箕曲文化祭(12月)の会場として、学校の体育館を開放し、「体験教室」で作製した児童の作品を展示していただきました。参加した児童には「箕曲のキラリさんみつかけよう」とよびかました。タブレットで気に入った作品を写真に撮り、感想を添えて提出をする児童がたくさんいました。また、児童の感想をまとめ、市民センターに掲示していただきました。
- ② 箕曲市民センターとの協働で、夏休みの3日間学校図書館を開放して、地域ボランティアによる学習支援「はなももくらぶ」を実施しました。「箕曲の紙芝居」「バルーンアート」「英語を楽しもう」の講座が開設され、参加した児童はとても楽しんでいました。
- ③ 地域への愛着を深める行事として、箕曲地域づくり委員会子ども育成部会とともに、箕曲探検物語(地域フィールドワーク)を実施しました。積田神社にてお気に入りの場所をタブレットで写真撮影し、作品を箕曲文化祭で展示していただきました。
- ④ P T A・地域づくり委員会共催の人権コンサートを開催しました。感染防止のため、6年生のみが対面、他学年、保護者、地域の方はリモートで鑑賞しました。
- ⑤ 3年生が市民センターを見学し、センターの役割について学習しました。また、「体操サークル」の方とともに活動し、交流を図ることができました。



①箕曲文化祭



②はなももくらぶ



⑤市民センター見学・交流



③箕曲探検物語

3. 成果と課題

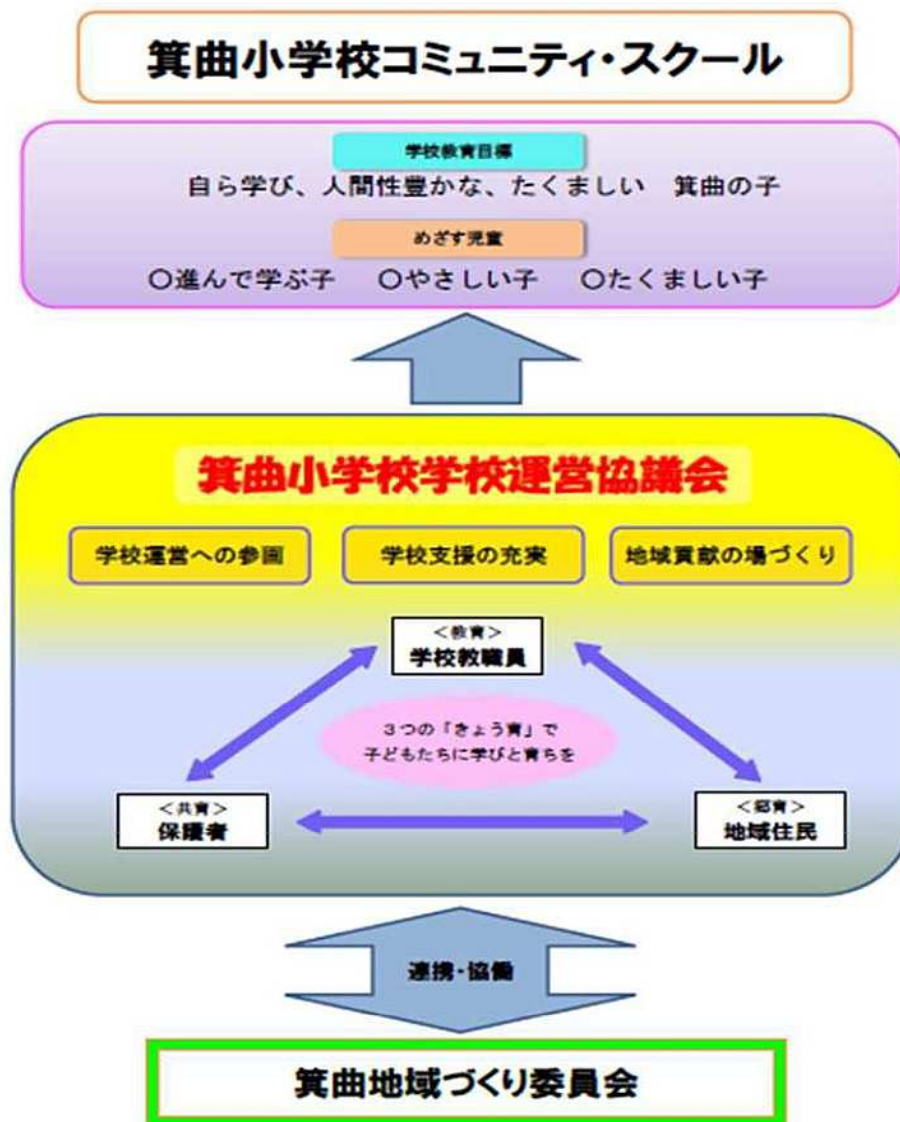
【成果】

- ◇学校の強みや課題を共有し、熟議を行うことができました。幅広い視点での意見や示唆をいただいたことで、学校運営がより円滑に進むようになりました。
- ◇本年度初めて「ボランティア交流会」を開催しました。横のつながりを深めるとともに、ボランティアさんの思いや悩みを出し合うことで今後の活動に活かすことができました。
- ◇感染防止対策を行いながらできる範囲で活動を続けてきたことで、児童の学びを深めることができました。

【課題】

- ◆熟議の内容や方法等、より効果的で深まりのあるものにしていきたい。
- ◆継続的に支援をいただける人材の確保を更に図っていきたい。
- ◆「新しい生活様式」に沿った活動内容を検討していかなければならない。

4. 学校運営協議会の組織図



錦生赤目小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年5月28日（金）9時40分～12時〉

- ① 委員による各学級の授業参観（第2校時）
- ② 協議
（議題）(1)委員の委嘱と委任状の交付
(2)委員の紹介と会長・副会長の選出
(3)学校運営協議会の推進目標
(4)学校運営の基本方針
(5)新型コロナウイルス感染症防止対策について
(6)熟議「コロナ禍での学校・家庭・地域の協働の機運を高めるために～子どもたちをはじめ、みんなが元気の出る取組を～」について

【第2回】学校運営協議会〈令和3年10月25日（月）13時40分～15時30分〉

- ① 委員による各学級の授業参観（第5校時）
- ② 協議
（議題）(1)本年度の全国学力・学習状況調査について
(2)熟議「子どもたちと地域が一緒になって学びを作るために」について

【第3回】学校運営協議会〈令和4年2月17日（木）予定 → 書面開催〉

- ① 議事
（議題）(1)令和4年度の学校行事について
(2)学校評価について
(3)熟議「児童の学習の場で活用するタブレット端末の体験」
(4)その他
 - ・学校運営協議会評価書について
 - ・令和3年度 学校運営協議会の成果と今後の方向性について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観のあと、授業改善に向けてご意見をいただきました。
- ② 「子どもたちをはじめ、みんなが元気になる取組」について熟議を行い、校区内の一人暮らしをしている高齢者の方々に対して励ましのメッセージを送る「きずな・スマイルプロジェクト」の取組を行いました。また、SDGsの一環として赤目地域で取り組んでいる「竹あかり」作りを6年生に伝え、卒業式に飾ろうという取組を行いました。
- ③ 学力・学習状況調査等の結果から、学力向上に向けた取り組みについて、意見交流をしました。



②竹あかり作りの体験



②「きずな・スマイルプロジェクト」

(2)【学校支援の充実】

- ① 毎朝の「あいさつ・声かけ運動」に地域の方々のご協力をいただき、成果があがってきています。
- ② 学校生活支援ボランティアの活動が広がり、子どもたちが安全・安心な環境の中で、生活や学習をすることができています。



②本の読み聞かせ



②サツマイモの植え付けの支援

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 2・3年生が赤目市民センターや錦生市民センターを訪問し、施設やセンター内で開催されている教室を見学しました。
- ② 全校児童が東京オリンピックの聖火リレーの応援に参加し、しっかり応援することができました。
- ③ 市民センター祭り（赤目地区）に児童の作品を出品し、地域の方々にも観ていただきました。
- ④ 赤目地区凧揚げ大会に希望する児童が参加し、保護者や地域の方々と一緒に楽しく過ごすことができました。



①赤目市民センターの見学



②聖火リレーの応援

3. 成果と課題

【成果】

- ◇授業参観により子どもたちの姿を共有することができ、学校経営や子どもの状況について幅広い視点からの示唆や支援をいただくことができました。
- ◇地域の大人たちと子どもたちとのふれあいが生まれ、学習や活動に多くの目があることで安心感が大きくなりました。
- ◇子どもたちの活動が、保護者や地域の大人が行動を起こすきっかけとなり、互いに自分たちの行動が役立っているという有用感を感じることができてきています。

【課題】

- ◆学校運営協議会について、地域全体や保護者にむけて、その意義や活動の発信の仕方を工夫する必要があります。
- ◆地域の活動と学校の活動がうまくマッチングしているか、常に活動を見直し、無理なことはやめる勇気を持ちつつ議論を深めていきます。
- ◆支援いただく方が限られてきていて、固定化しつつあるので、保護者・地域の方々に広く呼びかけていきます。

4. 学校運営協議会の組織図



桔梗が丘小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年5月27日（木）18時分～19時分〉

- ① 学校運営協議会について
学校運営協議会の役割及び協議会委員の役割についての説明
- ② 学校運営についての協議
 - ・学校運営協議会の組織について
 - ・本年度の学校経営方針・学校教育計画の説明
 - ・学校や児童の現状や課題について
 - ・その他50周年記念事業について

【第2回】学校運営協議会〈令和3年6月30日（水）18時30分～19時30分〉

- ① 50周年記念事業について
 - ・現在の進捗状況
 - ・記念誌発行における賛助会員（賛助金）の募集について
 - ・記念式典における地域からのプレゼンテーションについて

【第3回】学校運営協議会〈令和3年7月28日（水）18時30分～19時30分〉

- ① 50周年記念事業について
 - ・現在の進捗状況
- ② 学校運営について
 - ・学習ボランティアの充実
 - ・挨拶への取組

【第4回】学校運営協議会〈令和3年10月11日（月）18時30分～19時30分〉

- ① 50周年記念事業について
- ② 学校評価について
- ③ 全国学力学習状況調査分析について
- ④ 挨拶についての取組
- ⑤ 学習支援ボランティアについて

【第5回】学校運営協議会〈令和4年2月24日（木）18時30分～19時30分〉

- ① 学校運営について
- ② 本年度反省
- ③ 次年度に向けて

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による、子どもたちにつけていかなければならない力についてご意見をいただきました。
- ② 学校課題について共有し、解決策についてご意見をいただきました。

(2)【学校支援の充実】

- ① 学校運営協議会からの発信により、環境整備ボランティアや、登下校の見守りボランティアの方々の人数が増加し、より安全な登下校となるよう支援していただきました。



①登下校の見守り

- ② 学校運営協議会として連絡網を確立し、さらなる学校の情報共有を行い、学校教育活動にご協力いただいています。
- ③ 学習支援ボランティアを募集し、校内の児童の安全確保及び学習支援をしていただきました。



③学習支援

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 学校だよりの地域回覧
- ② 地域の方も学校メールグループに学校関係者として登録

3. 成果と課題

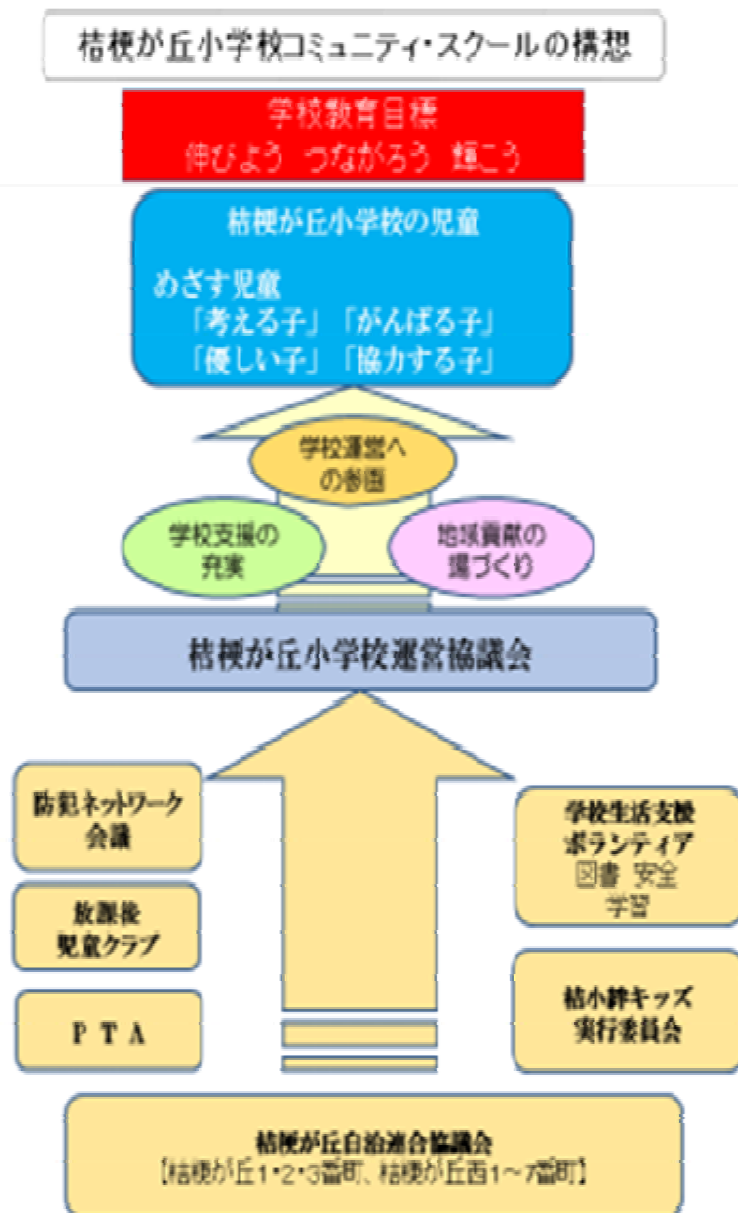
【成果】

◇学校の情報を運営協議会で共有し地域会議での発信や通信、ホームページ等でアナウンスすることで、学習支援や環境整備、児童の安全確保といった様々な面で地域から学校運営に参画していただき、児童との交流も増えました。

【課題】

◆学校が更に地域へ学校の様子や児童の様子を発信し、地域の方が学校運営に参画していただき、ボランティアの方々の連絡調整を図っていけるようなシステム作りを発展させていかななくてはなりません。

4. 学校運営協議会の組織図



桔梗が丘南小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年5月14日（金）13時30分～15時10分〉

- ① 委嘱状交付
- ② 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ③ 授業参観（全クラス）
- ④ 学校運営の基本方針・教育課程等について
- ⑤ 桔梗が丘中学校運営協議会についての情報共有
- ⑥ 熟議（地域貢献の場づくりについて）

【第2回】学校運営協議会〈令和3年11月18日（木）13時30分～15時15分〉

- ① 児童の様子について
- ② 児童アンケートの結果について
- ③ 全国学力・学習状況調査の結果について
- ④ 桔梗が丘中学校運営協議会についての情報共有
- ⑤ 熟議（地域が大好きな子どもたちにするための取組、地域貢献活動について）

【第3回】学校運営協議会〈令和4年2月24日（木）予定 → 書面開催〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 令和3年度の学校評価書について
- ③ 来年度の学校運営について
- ④ 本校の諸課題について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて意見をいただきました。
- ② 「めざす学校像・児童像」について、学校運営協議会委員が熟議を行いました。
- ③ 学校の課題について共有し、解決策について意見をいただきました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。
- ⑤ 小中一貫教育の充実に向け、委員1名を桔梗が丘中学校運営協議会委員と兼務していただき、情報共有を行いました。



①学校運営協議会



①授業参観・校内作品展見学



（2）【学校支援の充実】

- ① 毎日の登下校を、たくさんの地域ボランティアの皆様に見守っていただき、あいさつ運動も地域をあげていただいています。

- ② 交通安全協議会を持ち（3月予定）、登下校のボランティアの皆さんから、児童の姿や通学路の危険場所等について意見をいただいています。
- ③ 草刈りや、樹木の伐採・剪定など学校敷地内の環境整備をしていただいています。
- ④ 委員会活動に合わせ、児童と共に花壇の整備や花の育成を支援いただいています。
- ⑤ クラブ活動の囲碁将棋の指導をしていただいています。
- ⑥ 毎週金曜日に、図書ボランティアの皆さんによる読み聞かせと掲示物づくり、また、不定期でマンドリンやオカリナ等のコンサートを開催していただいています。
- ⑦ 毎週水曜日に、学習支援ボランティアとして授業に入ってもらっています。
- ⑧ 6送会と卒業式において、地域からのメッセージの掲示物作成等協力をいただいています。
- ⑨ 昔あそびやメダカの学習など地域の方にゲストティーチャーとして協力していただいているが、本年度はコロナウイルスの対策のため中止としました。



①登下校の見守り



④花壇の手入れ



⑤クラブ活動の指導



⑥本の読み聞かせ



⑥マンドリンコンサート

（3）【地域貢献の場づくり】

- ① 本年度の地域貢献活動として、11月20日の市総合防災訓練に合わせて、地域で取り組む防災訓練に高学年のみ参加し、中学生や地域の方とともに活動することを予定していましたが、本校校区（桔梗5番町及び桔梗南）については、準備が間に合わず、活動することができませんでした。本年度中に地域の活動組織が立ち上がる予定であるため、来年度は何らかの活動ができると考えています。
- ② 桔梗が丘自治連合協議会の「子どもたちと地域の絆づくり事業」で、児童と共に花を育て、地域の方に配付していただいている。
- ③ 6年生を送る会で、卒業生の平井堅さんがつくった「桔梗が丘」という曲を、保護者や地域の皆さんで歌う取り組みが続いています。昨年度と本年度については、コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加し歌っていただくことができないので、壁画を作成して体育館に掲示する取組を行っています。

3. 成果と課題

【成果】

- ◇図書館の整備や読み聞かせ等の支援により、児童が本に接する機会が増えるとともに読書量も増え、児童にとって居心地のいい場所になっています。
- ◇登校時の見守りや下校時の付き添いにより、児童は安全に登下校することができています。また、ボランティアの方々の声掛けにより、学校に来にくい子も、背中を押されて登校することができています。
- ◇季節ごとに花壇の整備をしていただいていることにより、子どもたちは心地よい環境の中で学習に取り組むことができています。
- ◇クラブ活動において、教員が指導できない内容を開設することができています。
- ◇学習支援に入っただいただいていることにより、きめ細やかに児童の学習を進めることができています。

【課題】

- ◆ボランティアの方が固定化しつつありますが、ボランティアの高齢化の課題があるため、毎年募っているが増員につながっていません。
- ◆桔梗が丘地域のまちづくり組織は、桔梗が丘全体で一つの組織となっており、本校校区での組織が存在しません。また、本校校区には桔梗が丘5番町と桔梗が丘南が存在しますが、共通の行事や取組がありません。地域の貢献活動として、桔梗が丘5番町の夏祭りへの参画という意見も出ましたが、桔梗が丘南には祭りがなく小学校としてかわらせにくい状況です。そのような中で、本年度から動き出した防災訓練への取組においては、桔梗が丘5番町と桔梗が丘南とが協働した組織を立ち上げ取組を進めることになっており、この動きを契機として地域との連携を進めていく予定です。
- ◆さらに充実した学校教育活動ができるよう、来年度から、学校支援ボランティアとして人手が欲しい家庭科の授業や遠足などの行事にボランティアの参加を、コーディネーターを通して呼びかけていく予定です。

4. 学校運営協議会の組織図

桔梗が丘南小学校コミュニティ・スクールの構想

学校教育目標

みずからまなぶ みんなとやりぬく みんなとつながる桔南の子

めざす学校像

子どもわくわく 教職員いきいき 学校きらきら

学校運営への参画
学校支援の場づくり
地域貢献の場づくり

桔梗が丘南小学校学校運営協議会

桔梗が丘自治連合協議会（桔梗が丘5番町・桔梗が丘南）
桔梗が丘南小学校 PTA
桔梗が丘南小学校区安全協議会
学校生活支援ボランティア（図書・園芸・環境 他）
ともだちクラブ（放課後児童クラブ）
子どもたちと地域の絆づくり事業運営委員会

桔梗が丘東小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年5月20日（木）13時20分～15時〉

- ① 授業参観
- ② 委嘱状交付
- ③ 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ④ 学校運営の基本方針・教育課程等について
- ⑤ 学校運営協議会運営方針について
- ⑥ 「みんなでつくる、みんなの桔梗が丘東小学校～子どもたちの夢を育むために～」
- ⑦ 「地域貢献の場づくり」の具現化
・オアシス運動の継続
- ⑧ 熟議 テーマ「オアシス運動を継続していくために、学校、家庭、地域それぞれが取り組めることは何か」
・児童委員によるあいさつ運動「オアシスレンジャー」の取組
・家庭、地域がそれぞれに「挨拶の種」をまいていく。
・PTAが主体となった取組・・・広報活動を通して啓発していく等

【第2回】学校運営協議会〈令和3年11月11日（木）13時20分～15時〉

- ① 授業参観
- ② 子どもたちの活動の様子（各学年の行事や運動会での子どもたちの様子等の報告）
- ③ 全国学力・学習状況調査 結果分析について
・分析結果からわかる本校の課題と今後の取組について（教科の調査及び児童質問紙調査の結果の報告並びに結果の分析からわかる本校の課題と今後の取組についての報告）
- ④ 熟議 テーマ「地域貢献の場づくり」に向けて～「オアシス運動」次へのステップ
・オアシス運動を浸透させるための具体的な取組について（学校、家庭。地域でできること）
→PTAとして・・・保護者への啓発として You Tube により啓発のための動画を配信する。
地域として・・・挨拶をできる環境づくりが必要（例：登校時にボランティアが通学路に立って声をかけているという学校もある）

【第3回】学校運営協議会〈令和4年3月3日（木）13時30分～15時〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 本年度の学校評価について
- ③ 来年度の学校運営について
- ④ 来年度の学校運営協議会組織について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会運営方針「みんなでつくる みんなの桔梗が丘東小学校」の取

組の具現化への一歩である「オアシス運動」に関わって、家庭や地域での具体的な取組へとつなげました。

- ② 学校運営協議会委員による授業参観の後、参観の感想も含めて、委員としての思い等の意見交流を行いました。
- ③ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。

(2)【学校支援の充実】

- ① 登下校ボランティアによる児童の見守り
- ② 読み聞かせボランティアによる本の読み聞かせ（毎週月曜日）
- ③ 地域で働く方（ぶどうづくり）からの話（2年生 生活科）



①登下校の見守り



②本の読み聞かせ



③働く方からの話

(3)【地域貢献の場づくり】

地域貢献の場づくりのためには、まず、「互いに挨拶を交わせる関係づくりが大切ではないか」ということから、それを具現化する取組として「挨拶が、互いの心をつなぐ」ということで、昨年度から、「オアシス運動」に取り組んでいます。

今年度は、この取組の周知と継続に向けての具体的な取組について、協議し、まずは、家庭への啓発ということで、You Tube による啓発のための動画配信を行いました。また、今年度も6月と9月、2月に取組の強化月間を設け、チラシを各家庭に配布するとともに、地域での回覧も行いました。

3. 成果と課題

(1) 成果

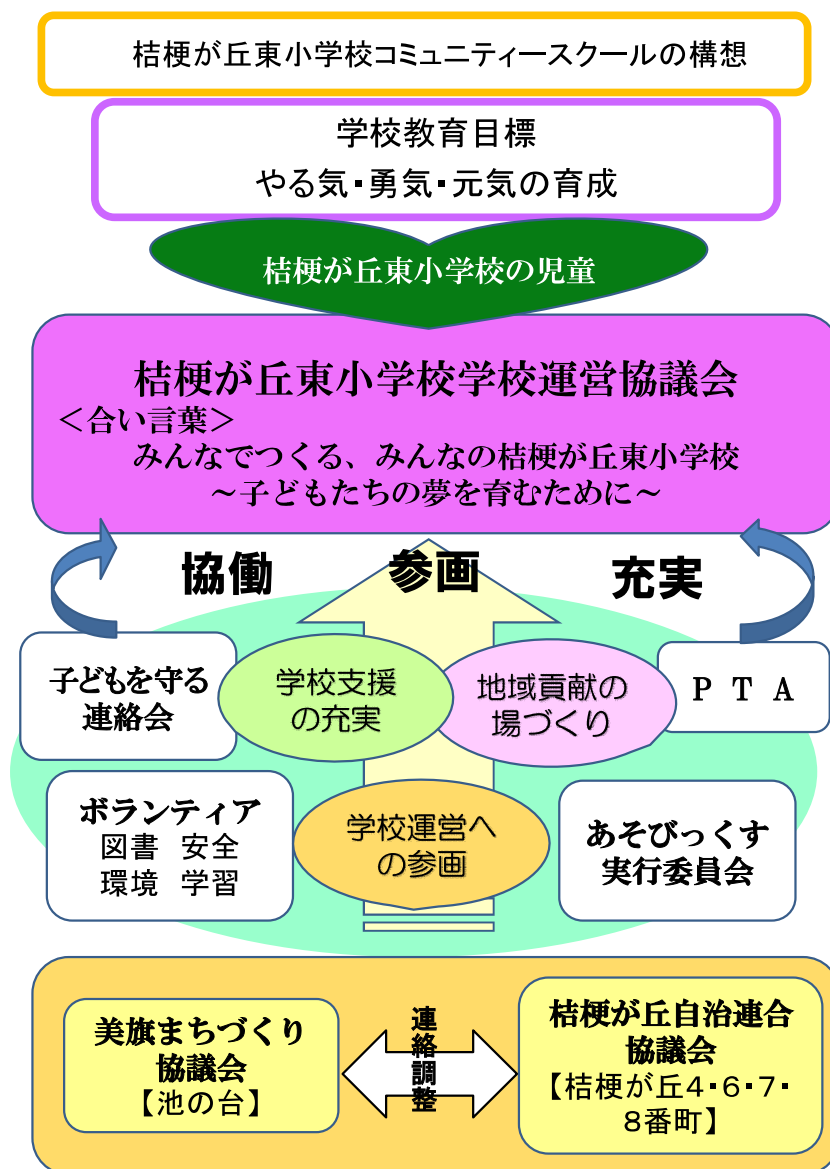
- ◇今年度も「主体的」「つながり」をキーワードにした学校運営を目指してきました。
- ◇学校運営協議会では、昨年度より「地域貢献の場づくり」の具現化のための取組として、「子どもだけでなく、教職員、保護者、地域住民が挨拶をきっかけにしてつながっていく」ことを目指して、「学校が中心となつての地域ぐるみのあいさつ運動＝オアシス運動」を実施しています。今年度は、この運動をまずは保護者に周知していく必要があると考え、PTAから各家庭へ啓発のための動画を作成するなど、具体的な取組にもつながりました。

(2) 課題

- ◆学校、家庭、地域が共に活動できる組織である「あそびっくす in 東小」の活動は、本校のコミュニティ・スクールを推進していく上で、重要な位置を占めています。昨年度の課題にも記述しましたが、今年度もコロナ禍の中、「あそびっくす」の活動ができませんでした。今後も「あそびっくす in 東小」の活動をコミュニティ・スクールの取組にどのように活かしていくか、ということについて検討していきたいと考えています。

- ◆子どもたちが、課題意識を持って、主体的に学んでいくためには、多種多様な考え
方から学ぶ機会が必要であることから、地域において、子どもたちの学びを支援して
いただける人材を発掘していきたいと考えています。
- ◆コミュニティ・スクールを推進していくためには、教職員の理解・意思統一が大事
です。現状として、教職員一人一人に、コミュニティ・スクール推進の当事者である
という意識づけのための具体的な方策（教職員が担うべき役割等）を提示していく必
要があります。

4. 学校運営協議会の組織図



すずらん台小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年6月4日（金）18時30分～19時30分〉

- ① 設置証交付、委嘱状交付
- ② 名張版コミュニティ・スクール及び名張市学校運営委員会規則について
- ③ 委員の紹介及び会長・副会長の選出
- ④ 学校運営協議会の推進目標等について
- ⑤ 学校運営基本方針について

【第2回】学校運営協議会〈令和3年10月29日（金）18時30分～19時30分〉

- ① 学校行事や子どもたちの様子について
- ② 全国学力学習状況調査結果について
- ③ 地域との連携取組について
- ④ 学習の森整備について
- ⑤ 北中校区小中一貫取組について

【第3回】学校運営協議会〈令和3年11月15日（月）18時30分～19時30分〉

- ① 地域との連携取組について
・「地域ぐるみのあいさつ運動」の具体的取組について

【第4回】学校運営協議会〈令和3年12月10日（金）18時30分～19時30分〉

- ① 授業参観
- ② 授業参観の感想交流
- ③ 地域連携取組（あいさつ運動）について

【第5回】学校運営協議会〈令和4年2月28日（月）予定 → 書面開催〉

- ① 本年度の学校運営協議会の成果と課題について
- ② 「令和3年度の学校評価」について
- ③ 来年度の学校運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、子どもたちの様子を交流し、授業改善にむけて意見をいただきました。
- ② 「地域とともにある学校」を作るために学校・地域・保護者の三者が協働した取組について協議しました。
- ③ 学校課題について共有し解決策について意見をいただきました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



②学校運営協議会

(2) 【学校支援の充実】

- ① 校門前に立っていただき、「あいさつ運動」をしていただきました。
- ② 学校行事（野外活動、焼きいも大会、昔あそび）にボランティアとして、地域の皆さんに協力いただきました。
- ③ 学森ボランティアのみなさんに、学校の環境整備（校舎内の草刈り、畑の整備、緑のカーテン設置等）をしていただきました。
- ④ 図書館ボランティアの方に、図書室壁面の飾りつけや本の整理や修繕等をしていただきました。



③環境整備



③授業支援



④本の整理・修繕

(3) 【地域貢献の場づくり】

- ① 4年生児童が、地域の施設等でボランティア体験をすることで、地域のあたたかさを知り、自分も地域住民の一員であることに気づくことができました。この活動を生かし、学校で自分たちができるボランティア活動につなげることができました。
- ② 敬老の日に、全校児童から手紙を渡しました。
- ③ 市民センター祭りに、子どもたちが描いた絵手紙を展示しました。



①ボランティア体験

3. 成果と課題

【成果】

（子どもたちにとって）

- ◇地域の方とのつながりが深まり、進んであいさつができるようになってきています。
- ◇多くの大人が関わることで、安心感が出てきています。
- ◇地域のことを知り親近感がわいたことで、地域に出かける機会が増えました。

（教職員にとって）

- ◇学校行事や環境整備等に精力的に支援していただいているので、教職員がゆとりをもって子どもたちに関わることができました。
- ◇夏季休業日の図書室開放では、学校運営協議会の委員が管理者となり、スムーズに運営することができました。
- ◇地域の方とのつながりが深まり、信頼関係が生まれつつあります。

(地域・ボランティアにとって)

◇子どもたちと一緒に活動することで、元気が保てるという声をいただいています。

◇自分の活動が学校や子どもたちの役に立っていることにやりがいを感じていただいています。

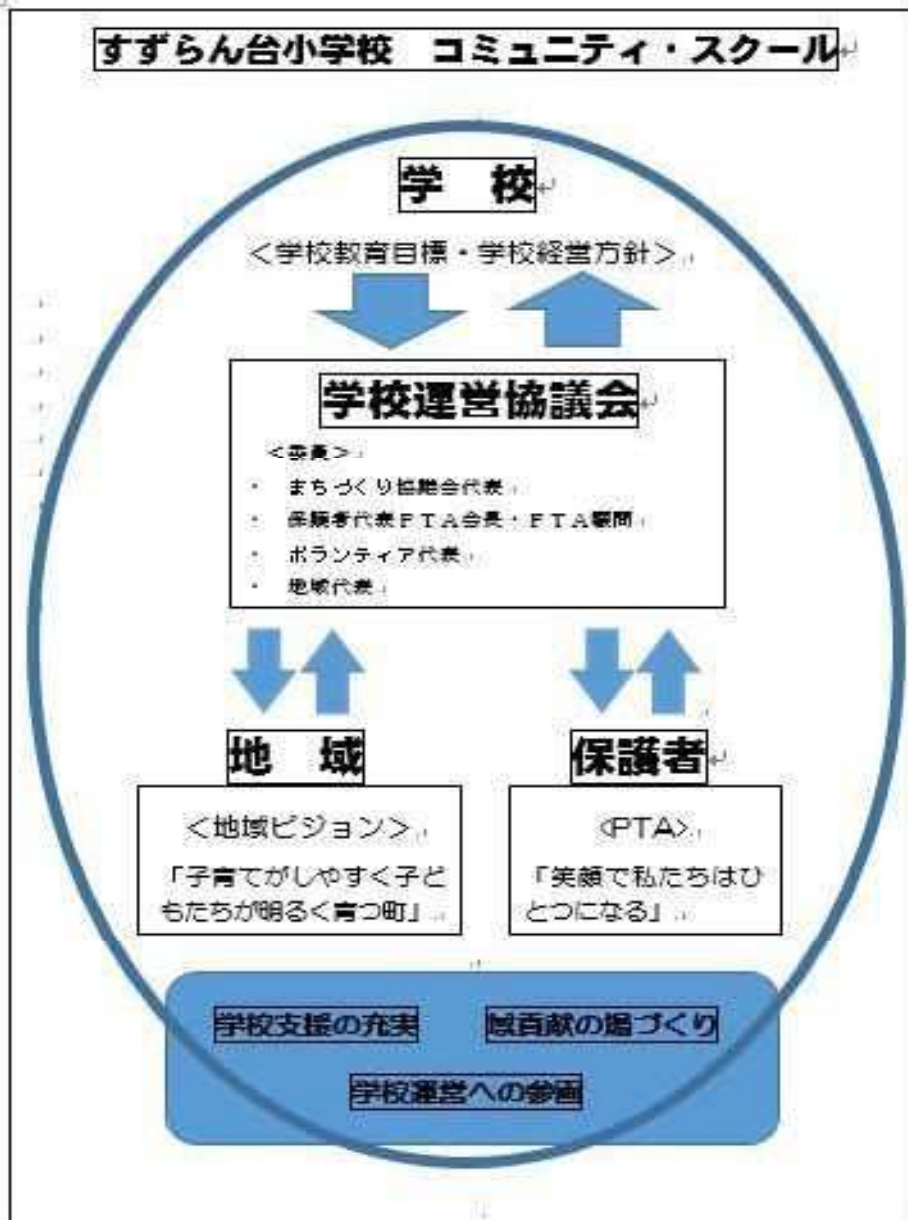
◇学校や子どもたちのために活動しようとする仲間が増えてきました。

【課題】

◆新規で登録していただいたボランティアの方は少数で、ボランティアの方が固定化しています。

◆コミュニティ・スクールが学校や地域のためにどのように有効であるかについて、さらに発信することが必要です。

4. 学校運営協議会の組織図



梅が丘小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年7月8日（木）13時30分～15時30分〉

- ① 授業参観
- ② 委員の委嘱
- ③ 会長・副会長の選出
- ④ 本年度の学校運営基本方針について
- ⑤ 子どもたちの様子について

【第2回】学校運営協議会〈令和3年11月19日（金）13時30分～15時30分〉

- ① 子どもたちの様子について（学校での様子、地域での様子）
- ② 梅が丘小学校版人材バンクについて

【第3回】学校運営協議会〈令和4年2月18日（金）予定 → 書面開催〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題
- ② 学校評価書について
- ③ 梅が丘小学校版人材バンクについて
- ④ 来年度の運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 授業参観の後、子どもたちの様子について、意見をいただきました。
- ② 学力や登校しにくい児童がいるという学校の課題について共有し、意見をいただきました。学習支援など地域の理解・協力も得ました。



①授業参観



①学校運営協議会

（2）【学校支援の充実】

- ① 読書ボランティアや英語ボランティアなど、ボランティアの人数が増えました。
- ② 地域の方々に協力をお願いして、昔遊びなどを企画したが、今年度は実施することができませんでした。



①図書ボランティア



①英語ボランティア

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 低学年を中心に、地域学習の一環として、校区内にある牛舎や神社、市民センター等の公共施設を訪問しました。
- ② 焼き芋大会や映画会など、子ども向けイベントをたくさん開催していただきました。
- ③ 地域の総会など、地域イベントの会場として体育館を使用いただいています。
- ④ 児童会行事等に地域の方々を招待しているが、今年度も実施することができませんでした。



①地域学習

3. 成果と課題

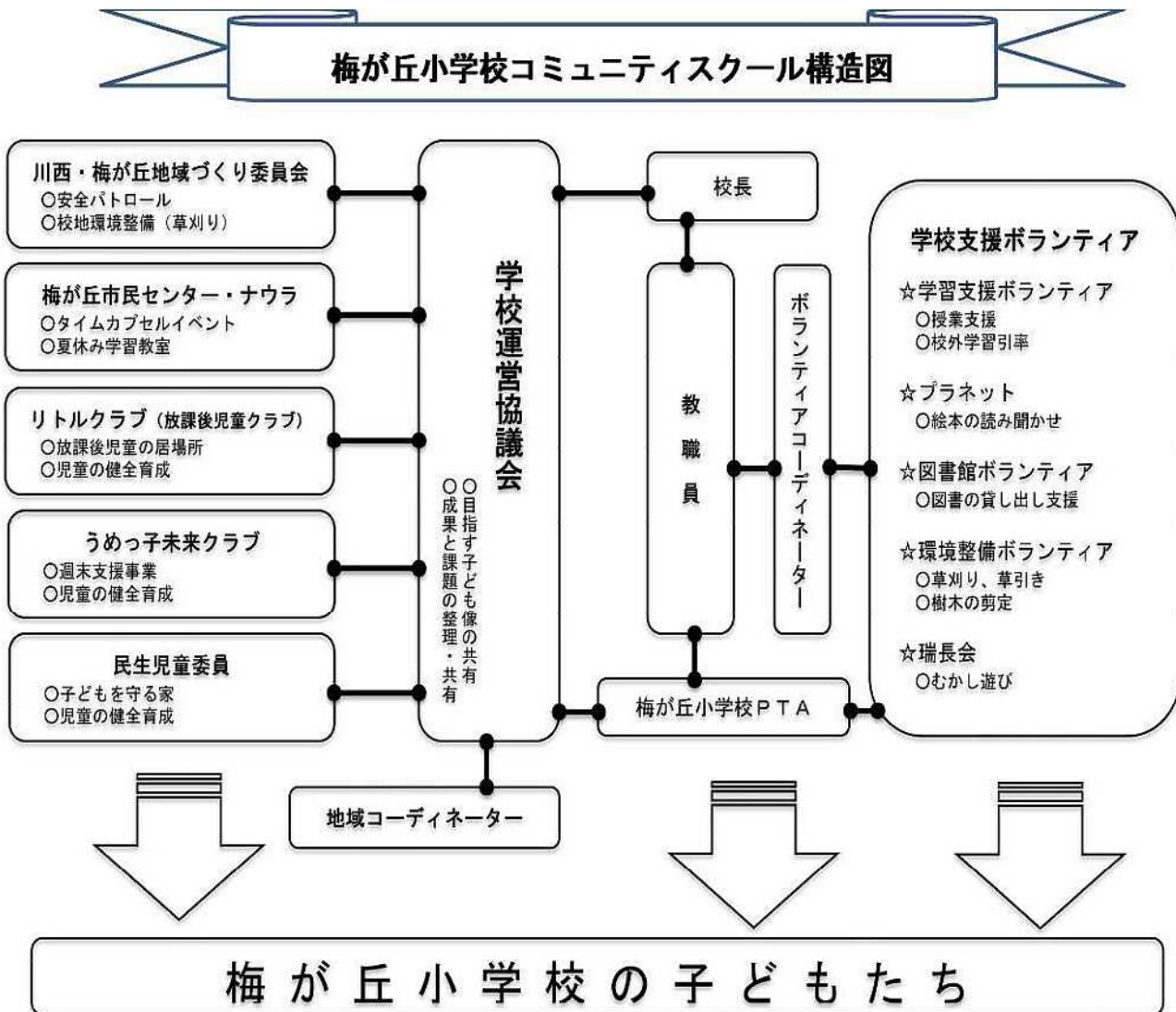
【成果】

- ◇授業参観をしていただき、感想や意見をいただくことができました。
- ◇学校の実情を知っていただき、支援や協力をいただけるようになりました。
- ◇人材バンク作成に理解・協力を得ることができました。

【課題】

- ◆「地域から学校へ」支援・協力をしていただいていることは多いが、「学校から地域へ」の取組が検討課題です。

4. 学校運営協議会の組織図



百合が丘小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和2年6月11日（金）18時30分～19時30分〉

- ① 委嘱状交付
- ② 名張市学校運営協議会規則について説明
- ③ 委員の紹介及び会長、副会長の選出
- ④ 協議：・本年度の学校運営の基本方針について
・学校運営協議会の運営と組織等について
・その他

【第2回】学校運営協議会〈令和2年11月11日（木）13時30分～15時〉

- ① 授業参観
- ② 協議：・児童の様子等について（授業見学を通して）
・百合小の子どもたちが、将来どのように育ててほしいかについて

【第3回】学校運営協議会〈令和4年2月24日（木）予定 → 書面開催〉

- ① 学校評価アンケートについて
- ② 協議：・本年度の学校運営の成果と課題について
・来年度の学校運営について 等

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校教育目標を説明するとともに、本年度の学校運営の基本方針について意見をいただきました。
- ② 児童の様子をふまえ、百合が丘小学校の子どもたちが、将来どのように育ててほしいか、赤中ブロック小中一貫教育の取組についての意見や、保護者、地域の取組等、ご意見をいただきました。



①学校運営協議会



②授業参観

（2）【学校支援の充実】

- ① ほめほめ隊による印刷業務支援や家庭科を主とした学習支援、図書ボランティアによる読み聞かせや掲示物作成等の環境整備、下校見守り隊による児童の見守り等、コロナ禍の中で可能な限りの支援をいただきました。
- ② 授業や校外学習等で、ボランティアの方々による、児童の引率支援や学校駐車場付近の安全確保などについて協力いただきました。



①印刷業務支援



①学習支援



①読み聞かせ



②引率支援



②安全確保

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 百合小こどもクラブの活動では、昨年度までは運動場のほか、体育館、「さくらホール」などの校舎内も使用いただき、活動していただいていた。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動がさらに自粛されているが、玉入れなどの用具や、敷地を活用していただきました。また、百合が丘シニアクラブの「レクリエーション大会」では、体育館等を使用させていただくとともに、レクリエーションのための用具（コーンや玉入れの玉・籠など）も使用していただきました。



①百合小こどもクラブ

3. 成果と課題

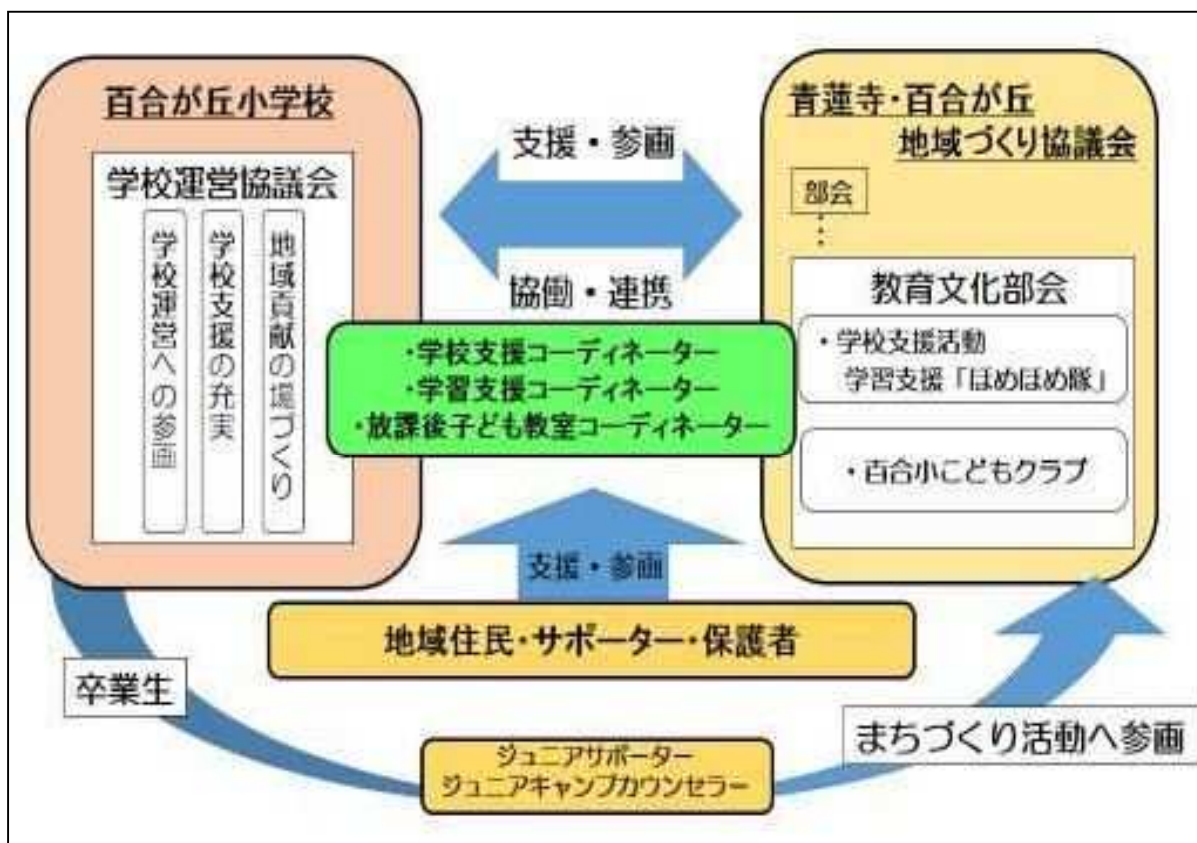
【成果】

- ◇本校は、日々、多くの地域の方や保護者の方に支援をいただいている学校ですが、学校運営協議会を開催することで、それぞれの立場からできることを発言いただき、情報共有するとともに、子どもたちの健やかな成長のための支援を得ることができました。
- ◇今年度も新型コロナウイルス感染防止対策のため、地域の方による支援を大幅に縮小しました。3密を避けるため、教室での支援を年度途中はなくしたものの、廊下での見守りを増やしていただいたり、児童が活動する時間を避けて図書室を整備していただいたり、校外学習での見守りの支援を行っていただいたりするなど、感染状況をふまえた可能な範囲での支援をいただくことができ、児童の安全確保や学習支援が図られました。

【課題】

- ◆長時間の会議となることを避けるため、熟議の時間の確保が難しかった。
- ◆年間3回の実施により、学校運営について、学校への支援について、学校評価についてなどを協議しているが、もう少し協議の時間がほしい場面もありました。
- ◆学校支援ボランティアについては、新型コロナウイルス感染防止の対策のため、学校への出入りを控えている状況があることから、現在、活動が可能なボランティアの把握が難しい状況となっています。

4. 学校運営協議会の組織図



名張中学校

1. 学校運営協議会の開催

◎年間計画を作成し活動しました。

R3 名張市立名張中学校 CS 年間計画表

| 月 | 項目 | 内容 | その他 | 学校行事 | |
|-----|--|---|---|--|-------------------------------------|
| 4月 | | | | 始業式・入学式 | |
| 5月 | 第1回CS会議 (22日 14:00～) | ① 委員の委嘱について、 ② 学校運営協議会名称について、 ③ 委員紹介、会長・副会長選出、 ④ コロナ禍における学校生活の様子について、 ⑤ 学校経営方針及び学校経営計画の承認について、 ⑥ 事業内容について、 ⑦ その他、 | 放課後手小遣 (検討事項) ○オンラインにてお集いできるか、 ○学校教育にご理解があり、守衛業務や生徒対応についてご理解いただけるか、 ○定期的な参加が可能か、 ○学習だけでなく生活の習熟がくりも、 ○数学・英語等を中学生に教えていただける方々はいるか、 ○担当する委員をつくる、 準備スタート | 名張市総合防災訓練と連携した避難訓練 (当日までの検討内容) ○避難場所を確認する、 ○ETAの地区委員候補者としての地域内、避難場所の転当地区が格取し、正しくなる確認する、 ○地域の11月20日の防災訓練の計画を聞かせてもらっておく、 ○避難訓練が当地区生徒の着換える、 ○まごづくりの代表との協議を重ねて、できる事を検討する、 準備スタート | 中間テスト、 全国学力・学習状況調査、 名張市総合体育大会 |
| 6月 | | | | 体育祭 期末テスト 総学旅行(3年) | |
| 7月 | | | | 授業式 中体連伊賀大会・三重県大会 | |
| 8月 | | | | | |
| 9月 | 放課後手小遣 | 〈取り組み内容〉 ○週に1回程度、本校図書室にて、完全下校までの1時間程度、数学や英語等の補充学習を行う、 | 2週目より実施予定 | 授業式 | |
| 10月 | | ① 名張市総合防災訓練と連携した避難訓練について、 ② その他、 | | 文化発表会 中間テスト | |
| 11月 | 第2回CS会議 (16日 19:00～) 名張市総合防災訓練と連携した避難訓練(20日) | 〈目的〉 ○生徒が地域の避難場所に行くことにより、避難場所を確認するだけでなく、その地域の方々と交流を行う、 ○中学生を災害時に活躍できる人材へと育成を図る、 〈内容〉 ○出席を確認する、 ○避難活動等を地域の方と行う、また、地域の避難等の共有を行う、 | 土曜授業において実施予定 | 期末テスト 避難訓練 研究発表 | |
| 12月 | | | | 授業式 | |
| 1月 | | | | 授業式 | |
| 2月 | 第3回CS会議 (日未定) | ① 本年度の実施結果及び成果と課題、 ② 学校自己評価について、 ③ 来年度に向けて、 ④ その他、 | | 学年末テスト、 三重県立高校説明会 | |
| 3月 | | | | 卒業式 修了式、 三重県立高校説明会 | |



学校運営協議会

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

〈学校経営計画の確認と学校教育目標変更の意見交流〉

第1回学校運営協議会では、資料だけでなくICTを活用し、本年度の学校経営計画を確認しました。また、今年度に現在の社会や学校の状況にあった学校教育目標にバージョンアップしました。2月に行われた第3回学校運営協議会で意見交流を行いました。

◎バージョンアップした内容は以下のとおりです。

人間性豊かで、たくましい生徒の育成
 〈めざす学校像〉
 ・どの子ども生き生きと輝く学校
 ・なげない毎日が幸せと感ずることができる学校
 〈めざす生徒像〉
 主体的に学ぶ生徒
 ・正しい判断力と実践力のある生徒
 ・自他を大切に、豊かな心を持つ生徒
 ・心身ともにたくましい生徒



自己と社会のより良い未来を、仲間と共に創造する子の育成
 〈めざす学校像〉
 ・どの子ども生き生きと輝く学校
 ・なげない毎日が幸せと感ずることができる学校
 〈めざす生徒像〉
 ・自分を認められる子
 ・人を大切にできる子
 ・変化を乗り越えられる子
 ・責任をもてる子
 ・より良い未来を創造する子
 ・伝統を重んじ引き継ぐ意欲のある子

(2)【学校支援の充実】

<名張中学校寺子屋>

教育課程外となる放課後において、可能な範囲で、地域の方々のお力を借りて、生徒の学びや居場所づくりの支援をしていただくことで、めざす学校像である「どの子ども生き生きと輝く学校」「なにげない毎日が幸せと感ずることができる学校」の実現を目指しました。

活動内容

- ① 補充学習として、週一回程度、放課後、本校図書室において学習等の支援を行っていただきました。(教科の学習を苦手としている生徒への支援)
- ② 学習支援ではなく、図書室に居ていただき、可能な時には、生徒の思いや悩み等を聞いていただくなど、生徒の心の居場所づくりの支援をしていただきました。



①補充学習

寺子屋 フラワーアレンジメント

2021. 12. 9



②居場所づくり支援

(3)【地域貢献の場づくり】

〈在宅時での災害を仮定した防災訓練について〉

1 日 時 令和3年11月20日(土)

2 目 的

- ・生徒自らが、災害時に避難する一時避難場所や市が指定する避難場所を確認する。
- ・生徒が、予測不能な災害に対し、自分の身を守るだけでなく、地域の一員として自分の安全を確保したうえで、災害時に積極的に活躍できる人材になることの大切さを知る。
- ・防災教育の中で、災害時に地域の一員として地域に貢献できる人材を育成する一歩とする。
- ・学校側が、生徒の登校前や下校後の災害時に生徒の安否確認をする資料を作成する。

3 活動内容

- (1) 9:00 地震発生。まず、自分の身の安全を確保する。
- (2) 9:10頃 自宅を出発し、まず一時避難場所に行く。
倒れてくる壁などを想定しながら移動する。
地域の方に出会った時には挨拶をする。
タブレットを必ず持参し、一時避難場所の写真撮影をする。
- (3) 一時避難場所での課題が終わった後
順次市指定避難所に移動する。
市指定避難場所で名張中学校の担当教員から出欠確認を受ける。
タブレットを必ず持参し、市指定避難場所の写真撮影をする。
- (4) 市指定避難場所で課題を終えた後、寄り道をせず、まっすぐ自宅に帰り、課題を仕上げ、11月20日(土)の12時までに、ロイロノートで、学校に課題を提出する。



防災訓練

3. 成果と課題

【成果】

〈学校運営〉

◇新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きく、学校を開放する機会や授業を参観していただく場を設けることができなかったが、ICTを活用し学校経営計画だけでなく、学力状況調査・三重スタディチェック等の結果やコロナ禍での学校生活の様子、学校行事に取り組む生徒たちの様子を学校運営協議会の中で見ていただく機会を多くとり、学校の課題や解決策などの意見交流を行うことができました。

〈学校支援・寺子屋〉

- ◇教科の学習を苦手としている生徒への支援を行うことができました。
- ◇家庭環境等に課題をかかえ、生徒指導上心配される生徒も定期的に参加し、進路に向かって学習をする機会とすることができました。
- ◇日本語を話せない外国籍の生徒が定期的に参加し、支援員とかかわりを持ちながら、学習だけでなく、日本文化についても触れる機会とすることができました。
- ◇地域の方が学習支援だけでなく、手のひらマッサージやフラワーアレンジメントなど生徒とかかわれる内容・活動を活かし生徒と交流する場面を設けることができました。

〈地域貢献・防災訓練〉

- ◇市の防災マップと実際に地域で行われている避難場所との違いが少なくなく、実際の災害時に避難すべき場所が定まらない可能性がある。このような安全安心に生活するという生徒に直接かかわる課題を地域に問題提起することができました。
- ◇生徒が地域の避難場所に行くことにより、避難場所を確認するだけでなく、その地域の方々と交流することができました。
- ◇中学生を災害時に活躍できる人材へと育成を図る第一歩とすることができました。
- ◇学校として生徒が在宅している放課後や土日での緊急時の安否確認の方法を確認することができました。
- ◇どの活動においても地域の方が温かく支援・協力してくださり、生徒にとって良い機会となりました。

【課題】

〈学校支援・寺子屋〉

- ◆学習支援が中心になってしまい、生徒の居場所づくりの支援をしていただく機会がなかなか持てなかった。今後そのような機会を寺子屋という枠を超えて、どのように持つのか模索していかなければならない。

〈地域貢献・防災訓練〉

- ◆タブレットを使い家庭から直接行った安否確認が、家庭のWi-Fi環境の課題もあり、再度電話での確認が必要になるなどスムーズにできなかった。

4. 学校運営協議会の組織図



赤目中学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年6月15日（火）9時30分～11時30分〉

- ① 委任状交付 運営協議会規則確認
- ② 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ③ 授業参観
- ④ 議事
 - ・運営と組織
 - ・本年度の学校運営の基本方針
 - ・各種担当など
- ⑤ 情報交換

【第2回】学校運営協議会〈令和3年11月8日（月）10時～12時〉

- ① 教育活動中間報告
- ② 全国学力・学習状況調査結果報告
- ③ 熟議（2グループ）
 - 「家庭学習の取組による成果への課題」
 - 「地域行事への積極的な参加を促すためには」
 - 「地域とのつながりをどうしていくか」
- ④ シェアリング（グループ交流報告）

【第3回】学校運営協議会〈令和4年2月17日（木）10時～10時30分〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題
- ② 令和3年度の学校評価書について
- ③ 来年度の学校運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観後、学校の課題について共有し、解決策について意見をいただきました。



①授業参観

- ② 義務教育9年間を見通し、最終年度の中学3年での目指す子どもの姿についての方
向性を示唆いただきました。また、一昨年、昨年度の様子と比較し、どのような取
組が成果となったのかを意見交流しました。

(2)【学校支援の充実】

- ① 自転車の乗り方やマナー等地域だよりでの啓発や、通学路点検を通じて、街灯の設
置をしていただきました。
- ② ボランティア募集や学校運営に関わる学校発の文書について、学校運営協議会
会長と学校長の連名で発出することの了解を得ました。
- ③ コロナの収束後昨年同様に、中学になり不登校にならないため、中学1年の夏休み
に地域で集いを持ち、地域の子どもの様子を確認するとともに、元気づける場の設
定をしていただけることを確認しました。

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 生徒が地域清掃活動を地域の方と一緒に行いました。(11月17日)



①地域清掃活動

3. 成果と課題

【成果】


- ◇粘り強い指導を継続していく中で、生徒の様子が良くなっていったことを実感して
いただきました。
- ◇熟議を行ったことで、学校で行うこと、家庭が行うこと、地域が行うこと、役割を持っ
て子どもを育てるなどの協力・支援の意識が向上しました。
- ◇具体的な取組の方向性について協議できました。

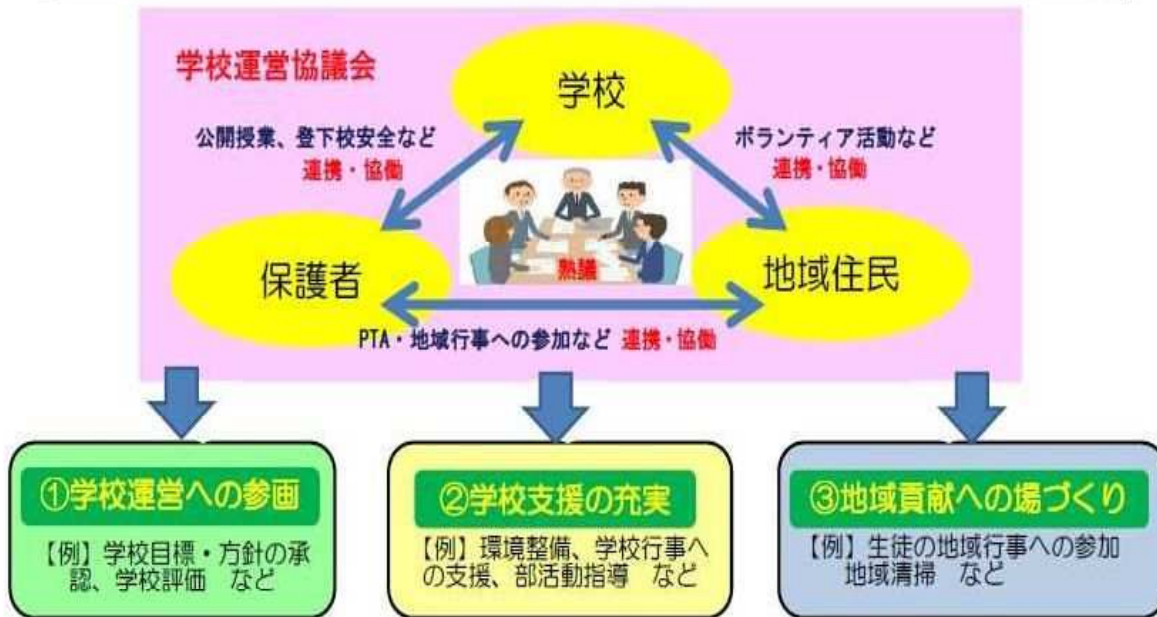
【課題】

- ◆ボランティアなどの取組についての方向性が定まっていない。
- ◆学校運営協議会委員の方と地域の方（自治協議会委員の方）への広がり
の弱さがあります。

4. 学校運営協議会の組織図

赤目中学校コミュニティスクール

推進目標 一人ひとりが生き生きと輝く生徒の育成
—学校・家庭・地域が協働して、子どもを育てる。— 



桔梗が丘中学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年6月14日（月）18時～19時30分〉

- ① 委員委嘱
- ② 委員の紹介および会長・副会長の選出
- ③ 令和3年度学校運営の基本方針について
- ④ 小中一貫教育の進捗状況について
- ⑤ 学校の様子について

【第2回】学校運営協議会〈令和3年10月28日（木）19時～20時30分〉

- ① 名張市学校運営協議会規則について
- ② 現在の学校の様子と課題について
- ③ 11月20日（土）に行われる防災訓練について
- ④ 熟議 「地域と連携した防災訓練の実施に向けて」

【第3回】学校運営協議会〈令和4年2月10日（木）予定 → 書面開催〉

- ① 令和3年度学校運営の成果と課題について
- ② 令和3年度の取り組みの成果と報告
- ③ 熟議「今年度の成果と課題をふまえた、来年度の取り組みについて」
- ④ 令和4年度 学校運営協議会評価書について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校課題について共有し、取組についての意見をいただきました。
- ② 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



①学校運営協議会

（2）【学校支援の充実】

- ① 部活動支援として、茶道部で2名の方にご協力いただいています。
- ② 登下校時の交通安全立ち番に、ボランティアとして地域の皆さんに協力いただきました。



①部活動支援

(3) 【地域貢献の場づくり】

- ① 地域行事へ音楽部が出演し、コンサートを行いました。
- ② 地域の自治会と協働し、防災訓練を地域の皆さんと一緒に実施しました。



①コンサート



②防災訓練

3. 成果と課題

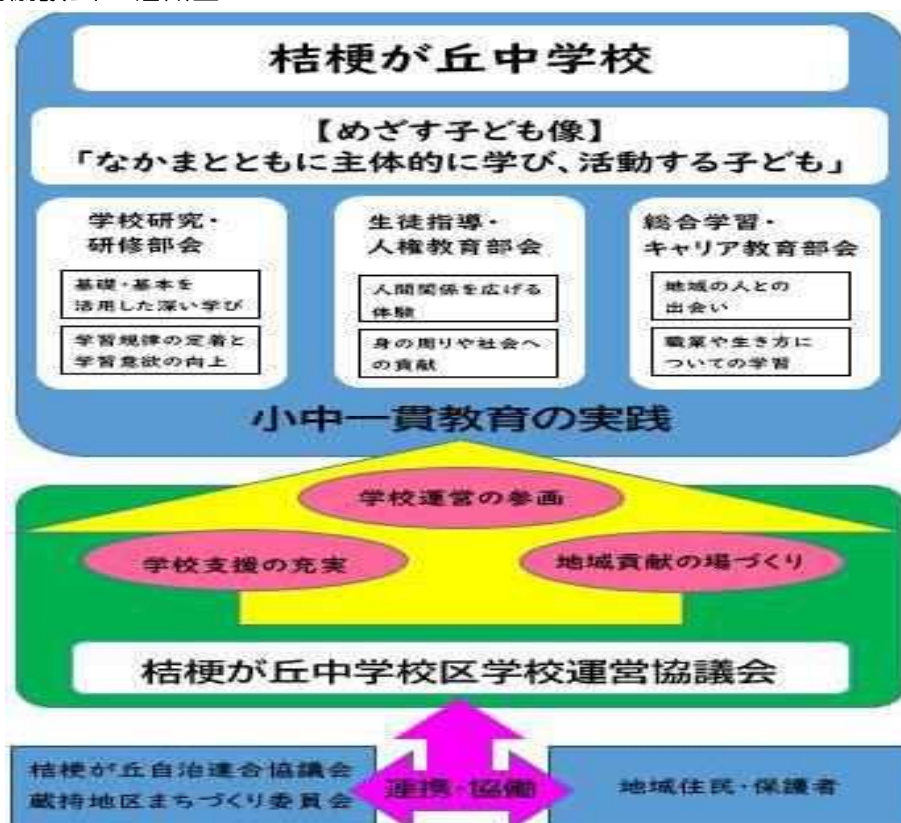
【成果】

- ◇学校運営にかかわる意見をいただき、子どもたちがよりよい学校生活を送るようために反映することができました。
- ◇防災訓練に地域の皆さんと協力して実施できたことで、これまでほとんどなかった地域の皆さんとの交流をもつことができました。
- ◇地域の皆さんと中学生の交流が増えることで、登下校など学校外においても安全・安心してすごすことができる環境をつくることができました。

【課題】

- ◆地域と協働して行った取り組みが少なかった。
- ◆学校運営協議会の設定時間が遅く、委員の皆さんを含めた地域の皆さんに普段の子どもの様子を見てもらうことができませんでした。

4. 学校運営協議会の組織図



北中学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】部会長会議〈令和3年5月14日（金）10時～11時〉

- ・第1回学校運営協議会にかかる各部会の提案内容の確認と取組の方向性の共有化

【第1回】学校運営協議会〈令和3年6月4日（金）9時45分～12時〉

- ① 学校運営協議会委員による授業参観
- ② 委員の委嘱について
- ③ 名張市「学校運営協議会規則」について
- ④ 委員紹介、会長・副会長選出 各部会長の承認
- ⑤ コロナ禍における学校生活の様子・行事予定について
- ⑥ 本年度の学校経営方針及び学校経営計画の承認について
- ⑦ 小中一貫教育にかかわる進捗状況について
- ⑧ 各部会（学校運営部会・学校支援部会・地域連携部会）の取組について
- ⑨ 各部会での協議

【第2回】部会長会議〈令和3年10月28日（木）9時30分～10時30分〉

- ・第2回学校運営協議会にかかる各部会の提案内容の確認と取組内容の共有化

【第2回】学校運営協議会〈令和3年11月5日（金）10時～11時30分〉

- ① 学校生活にかかわる生徒の様子について
- ② 熟議「どのような大人に育ててほしいと願うか」
- ③ 各部会（学校運営部会・学校支援部会・地域連携部会）の取組報告
- ④ 各部会での協議

【第3回】部会長会議〈令和4年1月24日（月）10時～11時〉

- ・第3回学校運営協議会にかかる各部会の提案内容の確認と取組総括の共有化

【第4回】部会長会議〈令和4年2月7日（月）10時～11時〉

- ・書面開催にかかる事項の確認と今後に向けて

【第3回】学校運営協議会〈令和4年2月4日（金）予定 → 書面開催〉

- ① 本年度の実施結果及び成果と課題
- ② 学校自己評価について
- ③ 来年度に向けて

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営（基本方針等）の承認
- ② 地域として「どんな大人に育ててほしいと願うか」をテーマに熟議
- ③ 各部会での取組
 - ・学校運営部会
 - 外部評価、校区内小学校の学校運営協議会との連携

- 学校支援部会
環境美化、通学路の安全点検、学習支援・部活動支援

- 地域連携部会
地域防災活動への生徒参加支援、各まちづくり組織との連携

④ 学校運営部会を中心に「学校評価」についての協議



①学校運営協議会

(2)【学校支援の充実】

①学習支援

学校支援部会を中心に、2学期には期末試験前の補充学習において学習のサポートをしていただきました。3学期も実施しました。将来的には、夏季休業中に定期的に学習の支援をしていただく予定です。学習のサポートだけでなく、地域の方との交流の場にもなっています。



①学習支援

②部活動の支援

美術部や剣道部、茶道部については、学校支援ボランティアの方を中心に、専門的な指導をいただいています。特に美術部では、学校運営協議会委員さんに指導をいただき、文化発表会での展示作品を完成させました。



②部活動支援

③交通安全

旧中京相互銀行前の交差点で、地域の方が生徒が安全でスムーズに登校できるように、交通整理をしていただいています。また、生徒の自転車がパンクした際は、学校支援ボランティアさんがすぐに駆け付け、修理をしていただいています。



③交通安全

④環境整備

支援ボランティアさんを中心に、ロータリーや格技場周辺など、校内の環境整備をしていただいています。



④環境整備

(3)【地域貢献の場づくり】

①地域防災活動への生徒参加

11月20日(土)に実施された名張市総合防災訓練では、生徒会本部役員を中心に地域の方とともに避難所運営訓練に参加し、地域割りや簡易テントの設営など運営の一員として活躍しました。また、その様子をオンラインシステム zoom を活用し、全校生徒で防災学習を行いました。生徒たちにとっては、災害時に地域の一員として何ができるかを考えるよい機会になりました。



①地域防災活動への参加

②地域行事への参加

地域行事である美旗古墳まつりやコモコモふれあい祭りなどの地域のイベントへの生徒参加を考えていましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域行事への直接の参加が難しかったので、市民センターの依頼を受け、生徒作品を提供するなどの活動を行いました。

3. 成果と課題

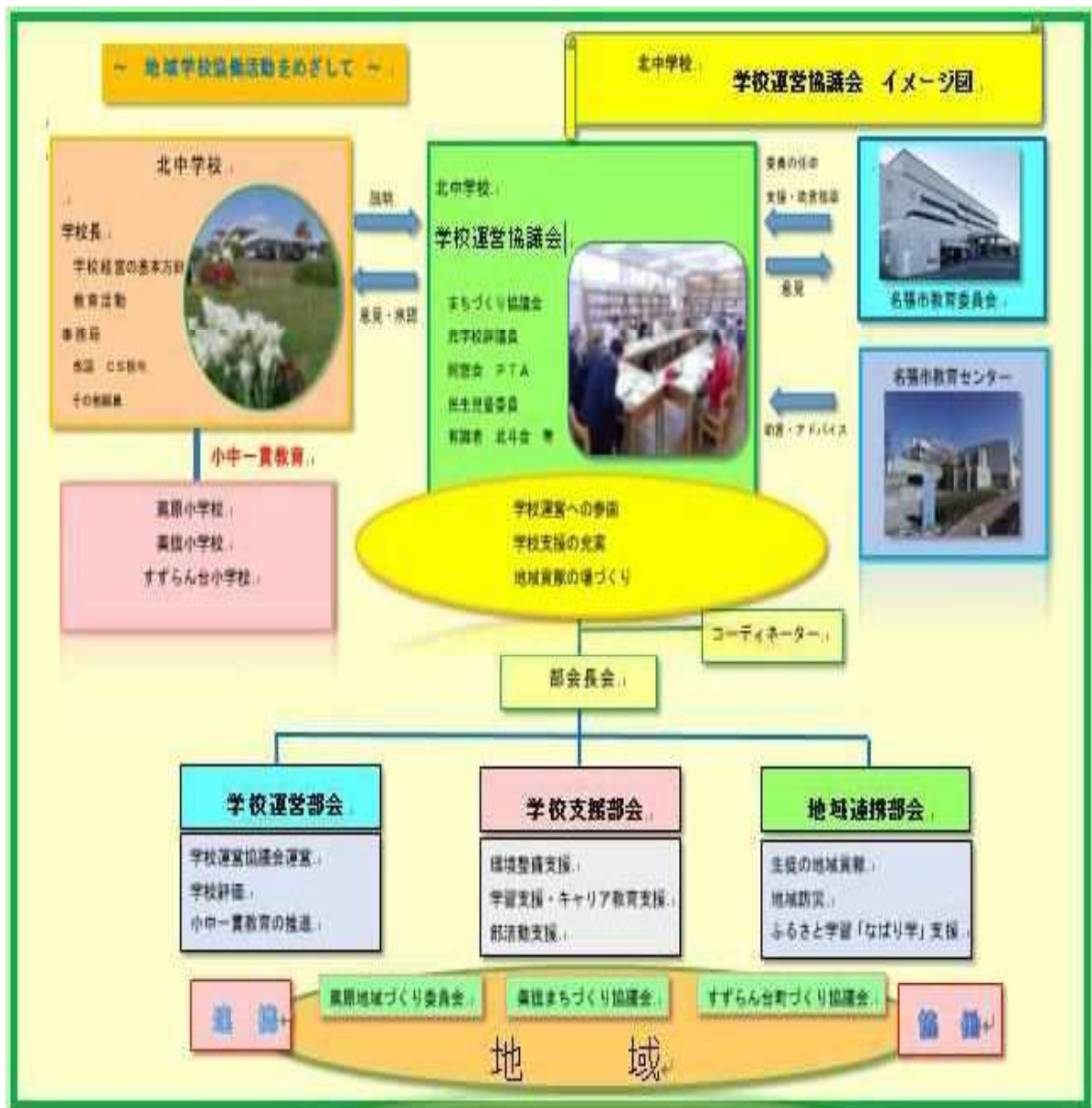
【成果】

- ◇学校運営協議会を中心に、学校の現状、運営の方針を理解いただけたことにより、成果だけでなく課題となっている事にも多様な視点から示唆をいただくことができています。
- ◇学校が支援してほしい内容や校区内の3つの地域が進めている地域づくりのビジョンについて、理解を深めることができました。
- ◇学校運営協議会での熟議を通して、子どもたちの将来像を共有し、学校運営協議会内に学校運営部会、学校支援部会、地域連携部会の3つの部会を設置したことにより、名張版コミュニティ・スクール3本の柱に関わり、より具体的な取組を実施することができました。

【課題】

- ◆学校運営協議会のメンバーに、各まちづくり協議会の会長や委員が所属していただいていることから、それぞれの地域が主催する行事に、子どもたちが参加し活動する場が増えるとともに、学校や子どもたちの様子を地域に知っていただく機会としたかったが、新型コロナ・ウイルス感染症の影響もあり、子どもたちが地域に出て行くことが難しい状況になってしまいました。
- ◆今後、コロナ禍の中で新しい生活様式をふまえ、どのような形で地域貢献を進めていくことができるのかを考えていく必要があります。
- ◆名張市が取り組む小中一貫教育の視点をふまえ、校区内各小学校の学校運営協議会との連携も必要です。

4. 学校運営協議会の組織図



南中学校区（つつじが丘小学校・南中学校）

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和3年6月上旬書面開催 新型コロナウイルス感染拡大防止のため〉

- ① 両校長による挨拶文（郵送）
- ② 委嘱状交付について（郵送）
- ③ 令和3年度つつじが丘小学校・南中学校学校運営協議会について（郵送）
- ④ 令和3年度学校運営の基本方針・教育課程等について（郵送）
- ⑤ つつじっ子会議について（郵送）
- ⑥ プログラミング教育について（郵送）
- ⑦ 小中一貫教育の進捗状況について（郵送）

【第2回】学校運営協議会〈令和3年11月5日（金）午前10時～12時分〉

会場:南中学校

- ① 授業参観（10時～10時45分）
- ② 委嘱状交付について（確認）
- ③ 令和3年度つつじが丘小学校・南中学校学校運営協議会について
- ④ 協議会規則等の確認
- ⑤ 協議会委員の自己紹介
- ⑥ 子どもの様子について（授業参観の様子から）
- ⑦ 普段の様子から（学校から）
- ⑧ 令和3年度南中学校区 学校運営協議会 重点取組内容
 - ・プログラミング教育について 6月19日（土）、10月16日（土）実施
 - ・国際交流イベント 9月18日（土）予定…中止
 - ・人権講演会・文化発表会 10月21日（木）
人権講演会をzoomで実施（小6・中学生）
 - ・地域防災訓練参加 11月20日（土）予定…中止
 - ・「つつじっ子会議」
子どもフェスタ参加は、フェスタ内容の変更により中止
 - ・「命の授業」（中3） 11月2日（火）
 - ・きずなネットについて
- ⑨ 意見交換・その他
剪定等ボランティア登録について
- ⑩ 報告・連絡

【第3回】学校運営協議会〈令和4年2月16日（水）予定 → 書面開催〉

会場:つつじが丘小学校

- ① 授業参観
- ② 子どもの様子について
- ③ つつじっ子会議の進捗状況
- ④ 小中一貫教育に関わるアンケート
- ⑤ 学校評価（各学校より）
- ⑥ 本年度の取組の反省と課題について
- ⑦ 学校評価書

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 書面による基本方針等の説明をし、承認をいただき、確認を行いました。
- ② 学校課題についての協議を行い、今後の方向性を話し合うことができました。
(子どもの様子について、授業について、プログラミング教育、交通安全等について、学校施設トイレについて)
- ③ 南中学校区の小中一貫教育、外国語活動・英語教育の取組のまとめである国際交流イベントを昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



②学校運営協議会 学校長あいさつ



②学校運営協議会 協議



②学校運営協議会委員による参観の様子・中学校



②小6プログラミング教育



②中3プログラミング教育



②人権講演会



②命の授業



②防災講話 ワークショップ

(2)【学校支援の充実】

- ① 小中一貫教育への支援をいただきました。
- ② ふれあい隊による清掃支援や更生保護女性会によるあいさつ運動の協力をいただきました。
- ③ クラブ・部活動への支援をいただきました。
- ④ 校内の草刈りや剪定作業等の環境整備をしていただきました。
- ⑤ 図書館整備等の支援をいただきました。
- ⑥ 働く人から学ぶ会・学習支援（授業等の学習サポート）をいただきました。
- ⑦ 紙芝居を行っていただきました。
- ⑧ 折り紙教室を行っていただきました。
- ⑨ コアラさんによる登校指導及び安全パトロールを行っていただきました。



②ふれあい隊とともに清掃活動



⑦紙芝居



⑧折り紙教室



⑨交通安全指導

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① つつじっ子会議の実施し、本年度はあいさつをテーマに据え、「あいさつがあふれる地域にしていこう」と地域代表者と議論を深め、活動をしました。
- ② 小中合同で地域と協働をして、地域のマスコット「えみらる」と朝のあいさつ運動を実施しました。
- ③ 中学生が、スーパーヤオヒコで、地域と協働のあいさつ運動を実施しました。
- ④ つつじが丘・春日丘自治連合会の皆さまによる、交通標語（小学校）・あいさつ標語（中学校）募集及び立て看板の設置の協力をいただきました。
- ⑤ 地域の方とともに考え行動する「地域をよくするプロジェクト」として、小学生が自治連合会や地域交番警察官に、地域をよりよくするための方法やアイデアを提案して、懇談を行いました。



①拡大つつじっ子会議



①拡大つつじっ子会議 地域の方と共に



②小学校つつじっ子会議あいさつ運動



②小中合同あいさつ運動



②中学校つつじっ子会議あいさつ運動



③スーパーヤオヒコで地域の方と共にあいさつ運動



④交通標語 表彰式



⑤地域の方とともに考え行動する
「地域をよくするプロジェクト」

3. 成果と課題

【成果】

- ◇本年度はコロナ禍のために、人が集まったの協議や取組が制限され、コミュニティ・スクールとしては厳しい状況の中での運営や取組となりましたが、その中でも形を変えて工夫しながら継続できたことが何よりの成果です。
- ◇近大高専の協力をいただきながら CS で主催するプログラミング教室についても、昨年度は中止せざるを得なかったが、本年度は、近大高専の講師陣に小中学校に来校していただき、各クラス別にプログラミング教室を実施しました。小学校はスクラッチというソフトを中心に学び、中学校はマイクロビットやドローンの制御などを学びました。学習内容も小中一貫教育を視点に小中とつながるような中身にすることができました。
- ◇つつじっ子会議では、今年度の取組の中心としてあいさつをテーマに据え、「あいさつがあふれる地域にしていこう」と活動を進めています。小中での子どもたちの運動は、コロナ禍のために合同でできたのは 1 回のみでありましたが、それ以外は小中それぞれで実施することができました。また、2 学期の終わりには、中学校のつつじっ子会議メンバーが地域に出向いて、地域の方とともにあいさつ運動を実施しました。
- ◇小学校では、昨年度の学校運営協議会で地域貢献として発案された校区内の横断旗作成による交通安全意識を高める取組について検討し、“地域をよくするプロジェクト”として年間を通して取り組んできています。交通安全だけでなく、地域の課題について児童自らが考え、地域の方とともに課題解決をしていく取組として進めてきました。地域の商店街活性化のためのマップづくりや交通安全意識の高揚のためのグッズの制作、横断旗制作、サル被害にあわないための看板づくりや町のゴミ問題等、地域の方に助言をいただきながら継続して取り組んでいます。

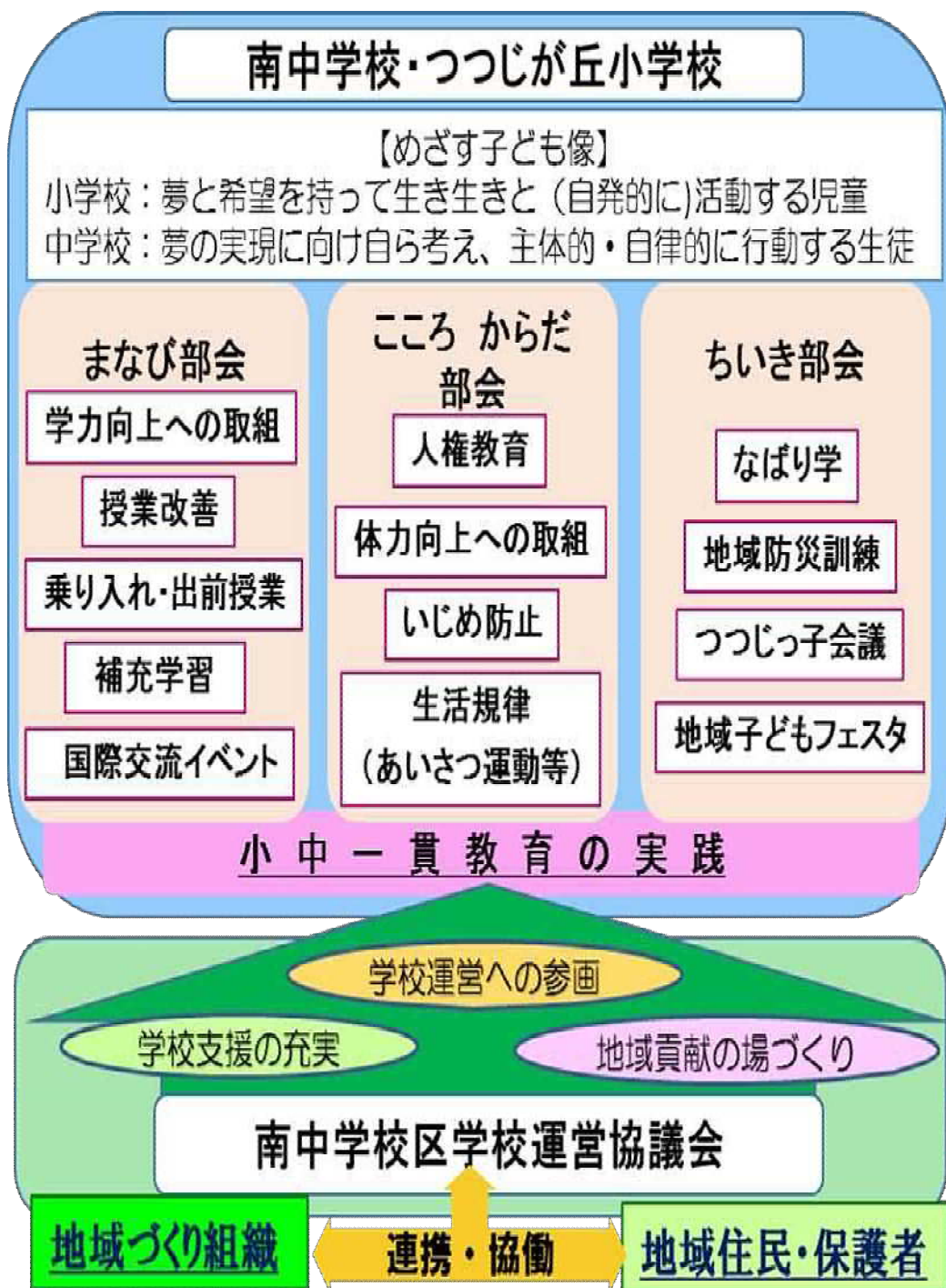
【課題】

- ◆小中一貫英語カリキュラムに位置付けている「国際交流イベント」について、昨年度は中止しましたが、本年度は形を変えて小中共に小グループ編成をして実施を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が発令されるなど、開催することができませんでした。来年度についても、以前のような形での実施は厳しい状況にあります。その時の状況下で実施できるよう工夫し、地域の方々の参加・運営への協力をお願いしていきたい。
- ◆名張市総合防災訓練時に、自治連合会主催の地域防災訓練に数年前より小中学生がともに参加して行ってきましたが、本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催することができませんでした。中学生が地域防災の要として動いていける地域をめざし

た、また小中学生がそれぞれの役割を担っていけるよう、来年度も学校運営協議会等で協議しながら実施していきたい。

4. 学校運営協議会の組織図

南中学校区では小学校と中学校の教職員が3つの部会に分かれて、小中一貫教育を実施しています。学校運営協議会についても小学校と中学校の組織を一つにして、南中学校区として会議を開催しています。南中学校区学校運営協議会では、この小中一貫教育の内容について情報共有しながら、実践への参画・支援・場づくりを行っています。また、学校課題についても共有し、取組についてご意見をいただいています。



コミュニティ・スクールだより



第21号

名張市教育委員会事務局発行
令和3(2021)年7月20日

文部科学省 コミュニティ・スクールの 在り方等に関する検討会議 Part.1

学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)は平成29年の法改正によって設置が努力義務となり、全国的な設置数は増加傾向にあります。保護者や地域住民の学校運営への参画や地域と学校が連携・協働した取組が行われるなどの一定の成果が出てきています。一方で地域と学校の連携・協働体制の在り方や進捗に、学校間や学校種の差異があることなどが課題となっています。「コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議」は、法改正から5年を迎えることから、今後の学校運営協議会の活動の充実に向け、文部科学省が外部有識者の協力を得て検討を行うために設置したものです。

検討事項として、

- (1) コミュニティ・スクールの在り方について
 - (2) コミュニティ・スクールの設置促進、活動の充実について
 - (3) その他、地域と学校の連携・協働に関することについて
- の3つがあげられ、これまでに3回の検討会が開かれ検討が重ねられ、コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議中間まとめ(骨子案)が検討されました。

(https://www.mext.go.jp/content/20210623-mxt_chisui02-000016237_8.pdf)

その中間まとめの中で、**コミュニティ・スクールの推進の必要性やこれからのコミュニティ・スクールの在り方等**について、今後の検討事項が次のようにまとめられています。

(コミュニティ・スクールの意義、役割) 【一部抜粋】

○ コロナ禍だからこそ見えてきた学校の本質もある。校長や教職員だけでなく、保護者や地域住民が参画し、目標の共有・その目標達成のための対話・協働、そして評価する令和型の新たな学校改革が必要である。

研修資料等に活用可

- 災害やコロナ禍のような困難な状況においても保護者や地域住民の理解と協力を得て、混乱なく安定した学校経営を行うことができる。また、生徒指導上の問題の根底には、児童生徒のコミュニケーション能力の低下と直接体験の不足があり、家庭や地域の支援を得て補っていくことが必要である。
- 震災復興の中でコミュニティ・スクールは非常に重要な役割を果たした。防災活動に地域との協働は確実に欠かせないものであり、コミュニティ・スクールが重要な役割を果たす。
- 次代を担う子供たちに必要な資質・能力を育むためには、コミュニティ・スクールを活かした学校運営が重要。また、コミュニティ・スクールの機能を活用することで、地域の目標を共有し、特色ある教育課程を再編し、地域的人的、物的資源を活用した教育活動を展開することができる。
- コミュニティ・スクールや地域学校協働活動は、学校改革のツールとして、全ての学校や校長に求められる。【続きは、次号に掲載予定】

検討会議の中で、名張市が事例発表!

「名張市における地域運営組織と
コミュニティ・スクールの連携について」



発表資料等
文科省にHP掲載

※議事録については、後日、掲載予定(アクセス方法)
文部科学省→政策・審議会→審議会情報→調査研究協力者会議等(初等中等教育)→コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議

全国に発信!!
高評価を
いただきました。

(https://www.mext.go.jp/content/20210623-mxt_chisui02-000016237_7.pdf)

【委員の感想・意見等より】

- 今日の地域運営組織についての事例発表、大変勉強になりました。私自身こういう名張市さんのような素晴らしい取組があるということを知ることができて、本当に良かったと思います。
- 地域運営組織に関して、発表いただきましたように、まさに地域の基盤づくり、コミュニティの形成に非常に重要な位置づけになるかと思っております。また、その活動に関しましては、名張市さんからも発表がありましたように、地域学校協働活動とリンクをするようなものと考えておりますし、それをコミュニティ・スクールと連携して進めるといって、非常に重要な取組になるかと考えております。

コミュニティ・スクールだより



第22号

名張市教育委員会事務局発行
令和3(2021)年7月27日

文部科学省 コミュニティ・スクールの 在り方等に関する検討会議 Part.2

前号に続き、中間まとめの中で、これからのコミュニティ・スクールの在り方等について、今後の検討事項が次のようにまとめられています。

(総論) 【一部抜粋】

○ コミュニティ・スクールは学校運営の在り方、学校そのものを見直すもの。教職員や学校運営協議会の委員だけではなく、社会総掛かりで教育にかかわり、誰もが地域の教育の担い手であるという風土を作っていく原点にあるべき。
○ コミュニティ・スクールは立ち上げることがゴールではなく、継続性を持つ仕組みとして地域に根差したものとしていくことが重要。

(これからのコミュニティ・スクールに求められる役割・機能)

○ コミュニティ・スクールは、セクターを超えたつながりで社会課題を解決していくという実践をまさに積み重ねてきたもの。これまでの取組で得られた様々な知見をコミュニティ・スクールへ戻していくことで大きな可能性を持っている制度ではないか。
○ 学校の課題について地域と学校が共有し、互いにアイデアを出していくような機能や体制を持つことが重要。
○ コミュニティ・スクールの在り方を考えるにあたり、地域学校協働活動や社会教育主事の役割も重要。地域学校協働活動を盛んにしていくためには、その学校の周りに豊かな社会教育の活動があることが重要。

検討会議は、12月まで継続して開催される予定です。今後、コミュニティ・スクールのツールにして創っていく姿が見えてくることになると思います。



「学習指導要領」前文には

これからの学校は

- 自分の良さや可能性を認識
- 他者を尊重・人々と協働・社会の変化を乗り越え
- 豊かな人生を切り拓き、社会の創り手となる

コミュニティ・スクールの推進・充実をめざして!

教育課程を通して

- 「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有
- 必要な学習内容をどのように学び
- どのような資質・能力を身に付けられるようにするか
- 社会との連携及び協働により実現を図る

=「社会に開かれた教育課程」の実現

地域の協力体制
(地域学校協働活動)

コミュニティ・スクール
(学校運営協議会)

学習指導要領を踏まえた 教育活動の更なる充実

- 教育水準を全国的に確保
- 各学校が特色を生かして創意工夫を重ね
- 教育実践や学術研究の蓄積を生かす
- 児童生徒や地域の現状や課題を捉え
- 家庭や地域社会と協働する

全ての大人に期待される役割

- 生徒が学ぶことの意義を実感できる環境を整え
- 一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていく
- 教職員・学校関係者・家庭・地域の人々
- 児童生徒や学校に関わる全ての大人に期待される役割

「名張で教育を受けてよかった!」「名張で育てよかった!」と実感できる子どもの育成

ふるさとの未来を託せる子どもを育てるために

コミュニティ・スクールだより

第23号

名張市教育委員会事務局発行
令和3(2021)年8月3日

学校運営協議会を 充実させるためのポイント



市内小中学校では、1学期を無事終了することができました。1学期には、コロナ禍での第1回学校運営協議会の開催となりましたが、書面決議や会議時間の短縮、開催時期の変更等、各学校の実情等を考慮した中での開催となり、大変ご苦労をおかけしました。ここで、下記のポイントをチェックしながら、これまでの学校運営協議会の運営を振り返り、夏季休業中や2学期以降に向けた取組の充実に生かしていただきたいと思います。

◆コミュニティ・スクールの仕組みを有効に活用するポイント

- 「めざす子どもの姿」「めざす学校の姿」等の目標やビジョンが、具体的かつ明確である。また、それらを全教職員が共有し、全校体制でコミュニティ・スクールの取組が推進されている。
- 学校の課題や目標、ビジョンを学校・家庭・地域が共有し、学校支援や地域貢献等の具体的な取組が企画されている。
- 子どもの変容をもとに取組を評価し、改善に向けた協議がなされている。
- 学校運営協議会の取組が、教職員の校務分掌や地域づくり組織、PTA等の取組と連動している。



◆学校運営協議会の開催にあたって、成果を生み出すポイント

開催前

- 校長と会長等が協議会のねらいを確認したり、協議の方向性を明確にするための打合せを行ったりする。
※協議事項が「めざす子どもの姿」の実現に向けた内容になっているか。「学校運営の充実に向けた内容であるか。」について検討を行う。
- 協議を充実させるため、必要な資料を委員に事前配布するなど、協議事項について意見をもって出席できるように工夫する。

開催時

- 活発な意見の発表や議論ができる雰囲気づくりをする。
- 開始・終了の時刻を厳守する。
- 学校課題等の情報をわかりやすく提供・説明する。
- 熟議の時間を十分確保するなど、参加者から幅広く意見を取り入れる工夫をする。
- 協議したことを、①すぐに取り組めるもの、②継続的に協議が必要なもの、③時間をかけ、様々な調整をしながら実現していく必要があるものなどに整理する。

開催後

- 協議した内容は全教職員で共有するとともに、保護者や地域住民にも学校だよりやホームページ等で広く発信し、情報の共有に努める。
- 協議会で議論した内容をもとに、めざす姿の達成に向けて、できることから具体的な協働活動（学校運営への参画、学校支援の充実、地域貢献の場づくり）に結び付けていく。
- 協議内容や協働活動の見える化を図る。

コミュニティ・スクールだより

第24号

名張市教育委員会事務局発行
令和3(2021)年12月2日

令和3年度 教育実践交流会 開催

～コミュニティ・スクールの推進・充実～

11月27日(土)に令和3年度名張市教育実践交流会を開催しました。この教育実践交流会は、子どもたちにとって望ましい教育環境や学校等における教育実践について、関係者が一堂に会して共通理解を図り、取組の発展につなげる機会が必要であることから、教育課題や重点取組の一つをテーマに開催することになりました。

本年度は、令和2年度に市内全ての小中学校が学校運営協議会設置校(コミュニティ・スクール)となったことを踏まえ、「コミュニティ・スクールの推進・充実」をテーマに実施しました。

当日は、100名を超える方の参加をいただき、錦生赤目小学校と北中学校の実践発表に引き続き、短時間ではありましたが、全体会の中で発表いただいた4名の方と参加いただいた皆様との意見交流を行うことができました。

最後には、三重県教育委員会事務局小中学校教育課の森清指導主事に名張市の取組についてご助言をいただきました。

全体会でのご意見から・・・

全体会で地域の皆様から、「ふるさとを愛する気持ちを持ってもらいたい、地域の良さを学んでもらいたい」「学校は地域の中心地であるから、入りやすい、親しみやすい学校づくりをしてほしい」「学校のお役に立てることがうれしい」「地域が学校をバックアップして、子どもたちを一人前にするために頑張っていく」等の意見が出されました。これは、子どもたちの学びや成長を中心に据え、コミュニティ・スクールに関わる皆さんに共通した思いであると感じました。



☆錦生赤目小学校の実践発表☆

「コミュニティ・スクールから見てくるもの～これからの学校と地域のつながり～」
発表者：校長 谷口雅彦 さん、学校運営協議会会長 数本肇男 さん

素晴らしいと感じたことは、学校運営協議会で、学校からの一方的な説明に終わらせず、具体的なテーマを設定して、毎回熟議を行っているということです。その時々に必要なテーマについて、学校や地域に何ができるかということを議論し、具体的な取組につなげているということは、まさに、学校運営協議会の本来の姿であると思いました。どうしても、毎年行っている学校行事についての話が中心となっているという学校が多い中、大変意義深い取組であると思います。また、地域貢献の場づくりにおいても、子どもが参加するだけでなく、参画する取組にしていくということも素晴らしい。そこに、学校支援ボランティアの方々ที่หลากหลายな形で協力くださることによって、学校と家庭、地域が一体となって、地域の子どもの成長を支えていただいているということが伝わってきました。会長さんが、「学校や地域が変わってきた、地域が学校に親近感を感じている」とお話しいただいたのは、学校運営協議会で、熟議を重ねて、それを実行しているからだと思います。子どもたちや教職員、そしてボランティアや地域の方々にとっても意義深いものになっていると思います。

【県教委小中学校教育課 森清指導主事の助言より】



☆北中学校の実践発表☆

「より実動的な学校運営協議会をめざして」
発表者：校長 山崎博史 さん、学校運営協議会副会長 古谷久人 さん

コミュニティ・スクールの組織づくり、体制づくりについて教えていただきました。学校運営協議会だけでなく、学校運営部会、学校支援部会、地域連携部会の3部会の部会長会という組織があるというのが、特徴的だと思いました。その会で、学校運営協議会のあり方や持ち方について常に検討し、また、しっかりと打ち合わせを行うからこそ、それぞれの部会が担当する分野も多岐にわたりますが、北中学校に関わる全ての方々が自分事として捉えて、立ち上げから大切にされている当事者意識を持って活動を進めているというように思いました。円滑な学校運営協議会のために、事前に資料を配布したり、熟議のテーマを予告したりするという取組や、学校運営協議会について、教職員がなかなか関わりを持っていないという課題もある中、その意見や思いを反映させるということも素晴らしいと思いました。

【県教委小中学校教育課 森清指導主事の助言より】

～市内全ての学校、地域、学校運営協議会で～

今後は、校長をはじめ先生方や地域の皆さんが集まる機会等に、それぞれの学校運営協議会の運営やコミュニティ・スクールの取組等を共有し、学校と地域をつなげ、より広がりのあるものにしていきましょう。また、中学校区内の情報を共有することが、より一層、実効性のあるものになっていくと考えています。

学校・家庭・地域・児童生徒のつながる仕組み＝コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールだより

第25号

名張市教育委員会事務局発行
令和3(2021)年12月8日

「地域とともにある学校」の運営に必要な機能 ～学校運営協議会の運営・協議の改善～

「地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）」の運営に欠かせない機能（3つの視点）があります。「熟議」「協働」「マネジメント」の3つです。その中でも「熟議」は、学校運営協議会において、学校と地域が、ビジョンや課題、情報等を共有し議論をすることで意思を形成する重要な場であり、学校と地域が連携・協働していくための基盤とされています。「熟議」とは、多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決をめざす対話のことです。

地域連携を深め、地域とともにある学校づくりを進めるためには、学校運営協議会の協議の一層の充実が欠かせません。この中で「熟議」が活発に行われる市内小中学校の学校運営協議会が増えています。「コロナ禍でもできる取組」や「コロナ禍だからこそできる取組」を地域とともに創意工夫して進めている学校があり、子どもたちや地域にとってよりよい成果も現れてきています。報告や説明、意見交流で終わるのではなく、学校の課題の解決につながる充実した協議や熟議となるよう工夫していきます。今後も、学校運営協議会（各部会を含む）での熟議が盛んになり、学校教育目標やめざす子ども像の実現に向けた保護者・地域との連携・協働が進むことを願っています。

熟議で共有したビジョンや目標の体制に向けて、力を合わせて「子どもたちのため」に取り組めます。熟議で出た意見は、すぐに全てが実行できるわけではありませんが「できることから協働を始める」ことで、徐々に多くの人が関わる協働体制が構築されていきます。

【運営・協議の工夫】



各学校運営協議会の熟議の様子・工夫

箕曲小学校



2グループに分かれて熟議、発表
テーマ
「少人数を生かした学校教育・発信方法・地域との連携」



学校・地域・PTAでそれぞれ取り組んでいくことを確認しました。

蔵持小学校



タブレット端末を活用して、前回の付箋を拡大して見ることができました。



グループで話し合ったことを発表しています。(全体交流)

前回の熟議で「どんな子どもになってほしいか。できることは。」についての意見をまとめて提示しました。

3グループに分かれて熟議、ブレインストーミングをして意見をまとめ、発表
テーマ
「学校と地域が一緒にやれることは」

話し合ったことをまとめました。また確認ができるように「見える化」しました。

比奈知小学校



全体で協議する中で「地域課題」も出されました。



★学校と家庭地域で協働してできること＝ピンク色付箋
★地域でできること＝黄色付箋

グループで話し合ったことを発表しています。

2グループに分かれて熟議、発表
テーマ「『自分が好き』と感じられる子どもの育成について」

次は、学校、家庭、地域それぞれができることを考えていきます。

熟議したことから、区分しました。
①すぐに取り組めるもの
②継続的に協議が必要なもの
③時間をかけて様々な調整しながら実現していく必要があるもの

コミュニティ・スクールだより

第26号

名張市教育委員会事務局発行
令和3(2021)年12月15日

連携・協働の視点 ～学校と地域をつなぐ 防災訓練～

11月20日(土)に行われた名張市総合防災訓練に際し、市内の小中学校では、学校や地域の実情に応じた防災訓練・防災学習が実施されました。

桔梗が丘中学校では、全校生徒が居住地域で行われる地域防災訓練に参加することにより、地域の方とふれあい、地域住民の一員であることを自覚し、災害発生時には地域住民と協働した行動がとれることを目的に実施されました。学校運営協議会でも訓練に向けて熟議を行いました。



- ① 地域の方による防災講話
- ② 屋内簡易テント設置
- ③ 地域住民との交流
- ④ 屋外テント設置
- ⑤ 消火訓練

桔梗中

★コミュニティ・スクールの視点★
「CSとして何に取り組んでいるか」ではなく(取組ありきではなく、取組をして終わってしまうのではなく)。
1. 子どもたち(児童生徒)により変容が見られるか。
2. 学校が組織体として機能し、教員の豊かな教育活動が主体的に展開しているか。
3. 地域住民の学びや動きが広がり、住民のつながりが生まれ、地域が元気になっているか。
この3点が重要です。

名張中学校では、在宅時での災害を仮定して、生徒個々が地域の避難所(一時避難所と市指定避難所)を確認しました。予測不能な災害に対し、自分の身を守るだけでなく、地域の一員として自分の安全を確保したうえで、災害時に積極的に活躍できるように、地域に向かいでの学習を進めました。タブレットを活用するなど帰宅後も課題に取り組みました。

名中



【一時避難所参集】

【市指定避難所参集】

北中学校では、薦原地区、美旗地区からなる「北中学校避難所運営委員会」を中心に避難所運営訓練が行われました。生徒会のメンバーを中心に訓練に参加し、他の生徒はその様子を視聴し、zoomを活用したオンラインで防災学習を行いました。災害が起こった時に、地域の一員として何ができるかを考える機会となりました。

北中



【コロナ対策健康チェック】

【物資運搬】

【屋内テント設置】

「中学生は、地域の戦力だ！」
と褒められました。

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて

学習指導要領では「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と地域が共有し共に連携・協働しながら未来の創り手となるために必要な資質・能力を子どもたちに育んでいくことが重視されています。そのためには校長の意図やマネジメントが重要です。この理念に基づき学校の教育目標やビジョンを保護者や地域の皆さんと共有し、地域と一体となって子どもたちの成長を育む「地域とともにある学校」の実現につなげていきましょう。

コミュニティ・スクールだより



第27号

名張市教育委員会事務局発行
令和3(2021)年12月22日

つつじが丘小6年生 地域へアイデア提案 「地域をよりよくするために!!」

つつじが丘小学校で12月3日(金)、6年生111人と地域づくり組織の関係者らで、地域をよりよくするための方法を話し合う懇談会が開かれました。児童からは交通安全やごみ問題の改善策等のさまざまな提案があり、参加した地域の方々には児童の声にメモを取るなど熱心に耳を傾け、コメントを返していました。

地域からは、地元のつつじが丘・春日丘自治協議会や子どもの安全を守る会NPO法人コア、つつじが丘交番勤務の警察官ら12人が出席。児童たちは10月以降、家庭科と総合的な学習の時間を使って地域の課題を調べ、タブレット端末を使ってプレゼンテーションの準備を進めてきました。



当日の発表では、2~10人前後でグループになり、1クラス3グループの計9グループが発表をしました。【以下、地域課題(テーマ)】
▽地域づくり(空き家対策)▽交通安全▽環境問題(ゴミ対策、サル被害防止)▽公園遊具の設置等



「ごみのない町にするために」では、ごみやたばこの吸い殻が落ちていくのを目にすることから、きちんとしたごみ箱を設置することや、ポスターの掲示、ごみ拾いイベントの実施等の提案がされました。また、交通事故防止のためにオリジナル反射材を作る提案をしたグループは、ドライバーが夜間に歩行者を見つけやすくなるだけでなく、つつじが丘のご当地キャラクター「えみらる」をあしらうことで「地域の宣伝や活性化につながる」と提案の説明がありました。

「提案をもとに行政に要望をしたり、自治会でも取り組んでいきたい」との回答がありました。

**コミュニティ・スクールから
スクール・コミュニティへの実践
学校と地域がWin=Winの関係に!**

地域の出席者からの、横断歩道に設置している横断旗を新たに作ってほしいとの依頼に、児童は全員の拍手で承諾しました。

「子ども(学校)を核とした地域づくり」への取組

本市では、「地域とともにある学校づくり」と「子ども(学校)を核とした地域づくり」の一体的な推進を目指して努めています。「地域とともにある学校づくり」は、少しずつ成果として現れてきましたが、「子ども(学校)を核とした地域づくり」は、更なる取組が必要であると認識しています。そこで、「子ども(学校)を核とした地域づくり」について、提唱されてきた社会的背景や国の動向等を共有したいと思います。

「子ども(学校)を核とした地域づくり」が提唱されてきた主たる社会的背景

◆社会的動向

- ・少子高齢化の急激な進行
- ・グローバル化や情報化の進展
- ・地域社会のつながりや支え合いの希薄化による地域教育力の低下

◆教育を取り巻く状況

- ・児童生徒数の減少
- ・子どもの規範意識等への課題
- ・学校が抱える課題の複雑化、困難化

学校課題を地域・学校の協働により解決を図ることを通じて、地域社会のつながりを再生し、地方創生の動きへ進展してきたこと等、地域のシンボルである学校が注目。

国の動向「学校を核とした地域づくり」の提唱

～平成26年閣議決定「まち・ひと・しごと創生総合戦略」【政策概要】～

学校を核として、学校と地域が連携・協働した取組や地域資源を生かした教育活動を進めるとともに、郷土の歴史や人物等をとり上げた地域教材を用い地域を理解し、愛着を深める教育により、地域に誇りを持つ人材の育成を推進し、地域力の強化につなげていく。(一部抜粋) ⇨「まち・ひと・しごと創生法」の成立(H26.11)

～「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」(R3.6.18)～

「地方創生を担う「人づくり」のための多様な主体の連携」

コミュニティ・スクールと地域協働活動の一体的推進による、地域と学校の連携・協働体制を構築するための取組を一層推進する。(中略) まちづくりのプラットフォームになり得る学校を核とした地域づくりを推進するとともに、地域とともにある学校づくりを推進する。(一部抜粋)

国の動向からも、いかにコミュニティ・スクールの仕組みが期待されているかがわかります。地域や社会を担う人材を育て、地域を元気にする、地域(ふるさと)に誇りや愛着をもつ子ども(後継者)を育成するには、幼少期からの地域の関わりが必須となります。学校と地域のつながりの中で、地域の良さを再発見し、学習と協働活動を通して地域を活性化し、地域社会総掛かりで温かい風土を育てていきたいと思います。

本市でもコミュニティ・スクールの取組により、地域・学校の連携・協働による学校づくりが進み、「子ども(学校)を核とした地域づくり(スクール・コミュニティ)」が少しずつ進んでいます。更なる一歩前へ向けて教育委員会事務局としても支援してまいります。

コミュニティ・スクールだより



第28号

名張市教育委員会事務局発行
令和4(2022)年1月5日

学校と地域の連携・協働 地域を考え 地域に発信!!

交通安全標語、あいさつ標語の立て看板設置

つつじが丘・春日丘自治協議会では、1学期からつつじが丘小学校の6年生に交通安全標語を、南中学校の3年生にあいさつ標語を募集しました。該当学年の児童生徒が考えた標語を、地域住民や教職員が投票により各10点ずつ優秀作品を選びました。この取組は、3年目となりました。



また、選ばれた標語を記した立て看板も自治協議会の協力により、学校周辺に設置されました。

10月には、各学校では、自治協議会からの表彰式も行われました。

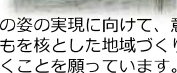
**育てたい子どもの姿の共有
学校課題、地域課題の解決に向けて!**

地域のコミュニティの輪を広げる標語展

12月、桔梗が丘自治連合協議会生活安全部会の主催で、桔梗が丘小学校、桔梗が丘南小学校、桔梗が丘東小学校の6年生に、地域コミュニティの輪を広げるために標語を募集し、児童たちの作品が桔梗が丘市民センターのロビーに展示されました。

子どもたちは、地域を安全・安心で笑顔あふれる住みよいまちにしたいとの思いで、交通安全、防災、環境、ごみ問題、あいさつ等の標語を考えました。

学校と地域が共通の目標や育てたい子どもの姿の実現に向けて、意図を持って連携・協働することにより、子どもを核とした地域づくり(スクール・コミュニティ)につながっていくことを願っています。



コミュニティ・スクールのメリット・効果

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組みを導入することによるメリットとして、主に以下の3つが挙げられます。(参考:文科省 コミュニティ・スクールのつくり方)

① 組織的・継続的な体制の構築 = 持続可能性

校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる「持続可能な仕組み」です。

② 当事者意識・役割分担 = 社会総掛かり

学校運営協議会の協議や熟議の場を通して、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという「目標・ビジョンを共有」できます。

③ 目標・ビジョンを共有した「協働」活動

校長が作成する学校運営の「基本方針の承認」を通して、学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して関係者全てが当事者意識をもち、「役割分担をして連携・協働による取組」ができます。

コミュニティ・スクールは、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民が参画していく仕組みです。当事者として、子どもの教育に対する課題や目標を共有することで、学校を支援する取組が充実するとともに、関わる全ての人にとって様々な効果が生みれます。

【子どもにとって】

- 子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって、安心・安全な生活ができます。

【地域住民にとって】

- 経験を生かすことで、生き甲斐や自己有用感がつながります。
- 学校が社会的につながり、地域のよりどころとなります。
- 学校(子ども)を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 地域の防犯・防災体制等の構築につながります。

【保護者にとって】

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生みれます。
- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

【教職員にとって】

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により、子どもと向き合う時間が確保できます。

山口県の取組に学ぶ

11月1日に「地方創生フォーラムin山口」が開催され、研修用動画が専用Webページにて、令和4年1月末までご覧いただけます。下記URLから受付フォームにアクセスしてお申し込みください。
受付フォーム ▶▶ <https://business.form-mailer.jp/fms/dc1bf387157245>

コミュニティ・スクールだより



第29号

名張市教育委員会事務局発行
令和4(2022)年1月12日

学校と地域が連携・協働することによる効果
～名張中学校 コミュニティ・スクール成功に向けて～

学校運営への参画に向けて～学校運営協議会の充実～

名張中学校では、学校運営協議会の活性化及びコミュニティ・スクール(以下、CS)の推進・充実に向けて、学校運営協議会委員と教職員が一体になり、当事者意識を持った連携・協働による工夫を凝らした運営や取組が行われています。

【第1回学校運営協議会 運営の工夫】

- ①担当教員Aから、名張中学校や生徒の様子についてDVDによる映像と、「名中愛」についての説明。
- ②教頭から、昨年度のCSの取組について報告。
- ③校長から、本年度の学校経営計画に基づく学校運営の基本方針の説明。
- ④担当教員Bから、本年度の活動について、CSの年間計画表(下表)をもとに説明した後、協議。



校長と会長・副会長が事前打合せをしっかりと行う。

| 年度 | 事業 | 内容 | 実施状況 | 達成状況 |
|--------|------|--------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 2021年度 | CS推進 | CS推進委員会設置、CS推進計画策定 | CS推進委員会が、CS推進計画に基づき、CS推進活動を実施している。 | CS推進委員会が、CS推進計画に基づき、CS推進活動を実施している。 |
| 2022年度 | CS推進 | CS推進委員会設置、CS推進計画策定 | CS推進委員会が、CS推進計画に基づき、CS推進活動を実施している。 | CS推進委員会が、CS推進計画に基づき、CS推進活動を実施している。 |

一目でわかる工夫されたCS年間計画表

【第2回学校運営協議会 運営の工夫】

- ①校長から、パワーポイント(44スライド)で学校の現状報告。
- ②担当教員Bから、本年度のCSの活動状況について報告。
 - 放課後寺子屋について
 - ・取組の現状と成果、課題についてスライドで説明。
 - ・参加生徒へのインタビュー動画を視聴。
 - 防災訓練(11月20日)の企画について
 - ・在宅時での災害を仮定した訓練の実施について説明。
- ③来年度のCSに向けて
 - 校長から本年度の成果報告と課題提起。
 - 具体的な取組や支援について、一歩前に進んだ活動になるように協議。



校長だけでなく、教職員と地域住民が、顔の見える関係づくりを積極的に行う。

「今年でできることからやっつけていこう!」という意見が出されました。

《名張中学校 放課後寺子屋》

めざす学校像である「どの子ども生き生きと輝く学校」にない毎日が幸せと感じることができる学校の実現をめざして、教育課程外となる放課後に、地域の方々力を借りて、生徒の学びや居場所づくりの支援をする。

【活動日・場所】 週一回程度、放課後、図書室を中心

★学校支援の充実★

【活動内容】

- (1)補充学習等の学習支援(教科学習を苦手としている生徒を中心とした支援)
- (2)学習支援ではなく、図書室に居ていただき、可能な時には、生徒の思いや悩み等を聞いていただくなど、生徒の心の居場所づくりの支援。



2月に行う第3回学校運営協議会で、来年度に向けて、活動のさらなる充実や学校教育目標について、意見交流を行う予定。

CSの設置が努力義務化(平成29年4月)され、現在の全国のCSの数は、11,856と増え続けています。CSの普及が進む中で、学校と地域が互いにパートナーとして「Win=Win」の関係であり続けるためには、安定的にCSに参画する人材を確保したり、学校と地域との連携・協働の関係を維持・発展したりするといった視点が必要であるといわれます。言い換えると「持続可能性」のための視点です。子どもの学びや学校教育活動を通じて多くの人が関わることを大切にしながら、人と人がつながり続ける。いかにつながるか、つながり続けられるかが、「地域とともにある学校づくり」の成功の鍵だと思います。

学校・家庭・地域・児童生徒のつながる仕組み＝コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールだより



第30号

名張市教育委員会事務局発行
令和4(2022)年1月19日

学校と地域が連携・協働 錦生赤目小学校
～「地域とともにある学校」をめざして～

コミュニティ・スクール推進目標

すべては、子どもたちのために

～学校・家庭・地域が協働して、子どもを育てる～

錦生赤目小学校には、令和3年11月27日に開催した名張市教育実践交流会で、実践発表をしていただきました。コミュニティ・スクールの推進・充実に向けて、校長のリーダーシップのもと、学校と二つの地域(錦生地域、赤目地域)が一体となり、互いのつながりや信頼関係を大切にし、地域人材や資源等を生かした、連携・協働による運営や取組の一部を紹介します。

【学校運営協議会 運営の工夫】

- ◎年間3回を基本として開催 ⇨運営協議会委員が参加しやすいように設定
- ☞ 第1回…午前開催、第2回…午後開催、第3回…夜間開催

◎具体的なテーマを設定して、熟議を実施

※ これまでの熟議テーマの例

- ◆地域(ふるさと)を愛する、地域(ふるさと)で住み続けたいと思わせる子どもたちを育てるために、学校・家庭・地域ができることは何か?
- ◆「持続可能な学校支援の仕組みづくり」のために、どのようなことをしていくとよいのか、また、保護者や地域に啓発していくにはどうすればよいのか?
- ◆コロナ禍において、今、学校・家庭・地域ができることは何か?
- ◆コロナ禍での学校・家庭・地域の「協働」の機運を高めるために、子どもたちをはじめ、みんなが元気の出る取組ができないものか?
- ◆子どもたちと地域が一緒になって学びをつくるために。

★参加者の声★

- ◇話し合うことで、年々学校への親近感が高まっている。「地域が好き!」と言える子らを育てたい。
- ◇地域の行事に子どもたちが参画していくことも検討してはどうか。学校と地域が双方向で交流できるとよい。



熟議することで、めざすものやゴールを共有し、協働へつなげる

～コロナ禍での学校・家庭・地域の「協働」の機運を高めるために～

コロナ禍で、子どもたちをはじめ多くの人が、一人ひとりの絆やつながりを持ちにくい環境となり、子どもたちの学びと育ちにも大きな影響を与えています。そのような中で、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしつつ、「子どもたちの豊かな学び」に向けて、協力・連携して取り組むことが重要であると考えました。そこで、「協働」の機運を高めるために、関わる多様な立場の人が、思いを出し合い、コロナの感染状況を踏まえたうえで、「今、どのようなことができるのか?みんなが元気の出る取組が展開できないか?」と、その実現・実行に向けたアイデアを出し合うなど、「熟議」を深めました。

コロナ時代のチャレンジ!

- ・今だからこそ、気付けることがある
- ・今だからこそ、できる教育活動がある
- ・今だからこそ、鍛えられる力がある

《学校から地域へ》

- ☞ これまで校区の高齢者の方々には、むかし遊びを教えていただいたり、運動会を参観いただいたりと、子どもたちとふれあい、子どもの姿を見ていただく機会があったが、残念ながら今はコロナ禍でできない。
- ☞ 校区で、一人暮らしをしている高齢者の方に対して、「自分たちと一緒にコロナ禍を頑張っていこう!」という、「はげましのメッセージ」を作成しらうか?

子どもたちが一人暮らしの高齢者の方に手紙やプレゼントを作成し、地域の方々(民生委員)に届けてもらおう! ⇨ 1学期後半作成、9月以降配布

児童会の運営委員が、各学年の教室で今回の取組や制作の手順等を説明
低学年…主にプレゼント作成
高学年…主に手紙作成



《地域から学校へ》

現在、SDGsの一環として、赤目地域で取り組んでいる「竹あかり」等の竹細工を、小学生に広める取組を進めよう!

- ☞ 現在、各地域ごとに「竹あかり」作りを行っており、子どもたちが、地域のことや良さを知り得る一つの機会となる。
- ☞ 子どもたちが、地域を好きになり、将来、住み続けたいと思えるような地域の魅力を発信していく機会につながる。
- ☞ 6年生に教え、作った作品を卒業式で飾ってみてはどうか。良い思い出になるのではないかと。

つながりが生まれ、スクール・コミュニティ(子どもを核とした地域づくり)へ



冬には、まちづくり委員会主催で和風を制作し、風揚げ大会開催

夏休休業中に教職員が竹あかりづくりに挑戦

地域の方に支援いただきながら、児童が竹あかりづくりの体験

コミュニティ・スクールだより

第31号

名張市教育委員会事務局発行
令和4(2022)年1月26日

コミュニティ・スクールから スクール・コミュニティへ ～「学校と地域づくり組織等との連携・協働～」

子どもを核とした地域総ぐるみの協働活動

箕曲小学校×PTA×地域づくり委員会×市民センター

箕曲小学校の学校運営協議会は、学校経営方針や学校運営に関わって、各委員が当事者意識を持ち、幅広い視点での意見やアイデアを出し合うことで、学校運営がより円滑に進むようになりました。特に、学校、保護者、地域が「めざす子どもの姿」を共有し、熟議や協議を重ねることで、これまで培ってきた関係を大切にしながら、学校と協働した取組をさらに発展・深化させ、名張版コミュニティ・スクールの3つの柱「学校運営への参画」「学校支援の充実」「地域貢献の場づくり」に係る取組が充実してきています。箕曲小学校の連携・協働した運営や取組の一部を紹介します。

【第1回学校運営協議会の運営の工夫】

〈熟議「これまでの課題と今後の方向性」〉

昨年度までの取組を振り返り、学校や児童の課題を共有し、今後の方向性について、互いに知恵を出し合い協議を深めました。本年度の重点取組として、「あいさつ」「読書週間」「家庭学習」について、学校、地域、保護者の三者がそれぞれやるべきことを確認しました。また、「コロナ禍における地域との連携・協働について」もPTA、地域づくり委員会、市民センターが役割分担をしながら計画・実行していくことになりました。更には、様々な取組やすべての活動を通して、子どもたちの「自尊心」を育むことの確認がされました。

〈各委員がタブレット体験〉

授業参観の後、児童が毎朝行っているタブレット端末を活用した健康観察について、各委員が端末を手に触れて体験いただくことで、これからの教育実践について、共通理解が図られました。



学校運営協議会において、「学校基本方針の承認」を行います。その「承認」とは、OK「それでいいよ！頑張ってください！」ではなく、Let's「一緒にやってみよう！」ということです。みんなで考え、みんなで決めて、みんなで実践・協働するということです。協力者ではなく、当事者として、同じ方向で一緒に考え実行することが大切です。

コミュニティ・スクールは、学校と地域・保護者が、目的や目標を共有し、その達成や解決に向けて協働を重ねることがなによりも重要！

【第2回学校運営協議会の熟議】

「少人数を生かした学校運営・地域との連携」について、各委員と教職員、保護者が熟議を行いました。

先生方には、日ごろからきめ細やかな指導をしていただいている。このことに感謝し、それぞれの持ち場で着実に進めていこう！それぞれが意識をして声(言葉)をかけていこう！

【学校支援の充実】

① ボランティア交流会

日頃、様々な形で活動するボランティアの皆さんが、つながれる場になっている。

② 音遊び、陶芸、しめ縄・かし作り等の体験教室

地域の方々を講師に迎える。

③ 学校田での米作り

地域の酒米サポーターさんの協力のもと実施。感染症対策により全校での取組を見送ったが、5年生からの発信により、全校児童への意識付けを図ることができた。

④ 学校の環境整備(草刈り等)、通学路の草刈り

地域の環境部の方が中心に活動。 (5年生から発信)

⑤ 民生委員を中心に下校をサポート

【地域貢献の場づくり】

① 箕曲文化祭(12月)

会場として、学校の体育館を開放。「体験教室」で作製した児童の作品を展示。参加した児童には「箕曲のキラリさんみつけよう」と呼びかける。タブレットで気に入った作品を写真に撮り、感想を添えて提出。児童の感想をまとめ、市民センターに掲示した。

② 地域ボランティアによる学習支援「はなももくらぶ」

箕曲市民センターとの協働で、夏休みの3日間学校図書館を開放。「箕曲の紙芝居」「パルーアート」「英語を楽しもう」の講座を開設した。

③ 箕曲探検物語(地域フィールドワーク)

箕曲地域づくり委員会子ども育成部とともに実施。地域への愛着を深める行事として、積田神社にてお気に入りの場所をタブレットで写真撮影し、作品を箕曲文化祭で展示した。

④ 人権コンサート

PTA・地域づくり委員会共催。感染防止のため、6年生のみが対面、他学年、保護者、地域の方はリモートで鑑賞した。

⑤ 6年生が市民センターを見学し、センターの役割について学習。「体操サークル」の方とともに活動し交流。



コミュニティ・スクールだより

第32号

名張市教育委員会事務局発行
令和4(2022)年2月16日

名張市小中一貫コミュニティ・スクール 推進協議会 開催

2月7日(月)に名張市小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会を開催しました。この協議会は、地域づくり代表者、保護者代表、代表校長、教頭代表、教職員代表、事務局職員が構成され、各学校の取組の進捗状況や課題を共有し、今後の推進や方向性について検討する目的で開催しています。

今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、参加者を各中学校区代表校長と事務局担当者に縮小し、感染対策を講じた中での実施となりました。まず、小中一貫教育及びコミュニティ・スクール(以下、CS)の推進状況について事務局から行政報告があり、その後、CSの推進に関して、「学校・地域・家庭の連携・協働の更なる推進に向けて」をテーマに、以下のような協議が進められました。

★学校間の取組の温度差

学校運営協議会の運営及び連携・協働の活動について、各学校の進捗状況や深まりに温度差が見られる現状から、各中学校区及び各学校の課題等を出し合い、共有することから始めました。



【ホワイトボードを活用して、考えを整理し議論を深める】

☆なぜ、CSが必要か？

- ・保護者や地域住民との関わりの中で、子どもを育てることが大切。子どもの実態から課題を共有し、課題解決のためにも必要。学校だけの教育だけでは限界もある。
- ・夢の実現のため。子どもは地域の宝である。
- ・地域住民と連携・協働することで、教育に厚みが出る。
- ・学校への苦情からの脱却。保護者・地域が学校の後ろ盾となる。
- ・10年後、20年後のよりよい未来をつくるため。
- ・持続可能な社会の実現のため。
- ・名張市の生き残りのため。(意見より一部抜粋)

☆CSは、学校の役に立っているか？

☆CSの充実にに向けて推進しているか？

コミュニティ・スクールを
基盤とした小中一貫教育
の実現に向けて

- ・連携・協働した取組から、子どもの成長を感じる。
- ・地域住民とともに活動することで、子どもの有用感が育まれるなど、子どもの姿を感じている。
- ・校長の姿は大きく見えるようになったが、先生方の姿が見えにくい。
- ・目に見える形にすることで、地域住民や保護者も認知度・理解度が上がり、前向きになってきた。
- ・防災訓練等を地域とともに実施したことで、新たに増えてきたこともある。
- ・打ち上げ花火的なイベントではなく、地道な活動や継続した取組が大事。(意見より一部抜粋)

CSの推進(学校・地域・家庭の連携・協働)

のための校長の役割とは？(意見より一部抜粋)

◎リーダーシップの発揮

学校運営協議会をどう進めるかは、校長のビジョンや意図、方向性にかかっている。一本の筋の通ったものがあるとよい。

地域住民や保護者、教職員が当事者意識を持って主体性を発揮していく取組が大事！出てきた意見を実現させ、取組や成果等を発信することが大切！

◎つなぐ役割であり、広告塔

学校、地域が、持続可能な場づくりを意図的に仕組んでいくこと。そのために、人と人、人と学校、学校と地域をつなぐ役割が大事！広告塔の役割も！

◎仲間を増やすこと

学校運営協議会委員の主体的な意識と取組のためのマネジメントが大切！！多くの賛同者を増やし、まずは、信頼関係づくりに努めること。

西山教育長より

CSは、学校運営の厚みを増やすためのもの。

校長が学校のめざす子ども像を職員に語れているか？！

コロナだからできない、しないのではなく、共に考えることから始める。

各学校の状況が違うが、現状を踏まえて、次のようにステップを進めるか？！

職員の中で語り合いがあるか？「学校愛」「子ども愛」

4月のリセットでは遅い！PDCAサイクルをスピン！

◇校長の「カリキュラム・マネジメント」が重要。校長の意図したものに。

◇これまでの運営協議会での議論のあり方や熟議の持ち方・内容、協働の取組について、振り返りと時味が必要。何ができて、何ができなかったか。見通しを持ったものであったか。意図したステージへの仕込みが充分であったか。教職員や児童生徒、小中学校の関わり方、何をねらったものかなど、意図した切り口になっていたか。

◇地域とともに仲間を増やし、いかに絵(構想)を描き、織り成しているか。◇学校・家庭・地域が総ぐるみで、いかに子どもが地域を変えていくか。そのことが、スクール・コミュニティへとつながっていく。

コミュニティ・スクールだより



第33号

名張市教育委員会事務局発行
令和4(2022)年3月9日

『コミュニティ・スクール 実践集2021』発行

本年度のコミュニティ・スクールの特色ある活動や実践を集めた『コミュニティ・スクール実践集2021』を作成しました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、三重県や名張市にまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発令されるなど、長引くコロナ禍においても、互いに知恵を出し合い、工夫をしながら実施した各学校の様々な事例をはじめ、来年度以降の推進のためのヒント、また、「コミュニティ・スクール」の連携・協働した取組を子どもを核とした地域づくりである「スクール・コミュニティ」に発展させていくためのアイデア等が満載です。

『コミュニティ・スクール実践集2021』は、名張市公式HP <https://www.city.nabari.lg.jp/> で公開しています。是非ご覧ください。

※名張市公式HP内の掲載場所は下記のページです。
<https://www.city.nabari.lg.jp/s057/010/040/080/20201126154148.html>



コロナ禍においても、子どもの学びや成長のため、「今だからこそ、気付けるところがある」、「今だからこそ、できる教育活動がある」、「今だからこそ、鍛えられる力がある」と信じて、学校と家庭、地域が互いに連携・協働するコミュニティ・スクールの推進を図ることが重要と考えます。

今後も各々が当事者意識を持ち、熟議の中で互いに知恵(アイデア)を出し合い、地域づくり組織等と連携・協働しながら子どもの豊かな学びと健やかな成長を支え、学校が地域コミュニティの絆や生きがいづくりの核となるため、よりよい方策を生み出していきましょう。

★未来の創り手を育てよう! ★子どもはみんなで育てよう!
★学校(社会)はみんなできつろう!

コロナ禍での学校運営協議会の開催に苦慮 時間短縮、WEB開催、役員開催、書面開催等で工夫

新型コロナウイルス感染症の感染が急拡大する中、三重県がまん延防止等重点措置期間のため、各学校では、本年度最後の学校運営協議会の開催に苦慮していました。本来ならば、本年度の学校運営の評価や活動の総括、次年度に向けての方向性等を話し合う重要な機会と考えていたはずですが、オミクロン株の感染拡大状況が収束しない中で、開催を見合わせざるを得ない学校が増えてきました。

次年度における学校運営及びコミュニティ・スクールの取組等のスタートがスムーズに進められるよう、引継ぎや方向性の確認を確実にお願いします。

そのような中で、大きな教室で換気を十分に行いながら感染防止対策を講じた中での開催や、時間を短縮しての開催、参加者を制限しての役員開催や部長での代替開催、書面での開催等、実情に応じて開催されています。一例ですが、名張中学校では、WEB会議が開催され、約半数の委員がZOOMで参加しました。初めての試みではありましたが、「会議はしておくべき」との声を大切にした結果であり、スライドや動画による提案等、教職員も役割分担をして会議運営に参加する協力体制が見られました。



【名張中学校】
ZOOMによる
WEB会議

子どもたちに、今、必要なものは?!

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、改めて学校・家庭・地域の役割分担や連携・協働することの重要性が浮き彫りとなってきています。

保護者や地域住民の皆さんが「当事者」として学校運営に参画し、めざすべき目標を共有し、その目標達成のための十分な熟議・協議をしたうえで、学校と家庭・地域が連携・協働して対処することができる体制を制度的に保障していることに、コミュニティ・スクールの意義があります。

コミュニティ・スクールは、学校・保護者・地域住民で「共に創っていくもの」=「共創」ではないかと考えます。これからの社会を形成する子どもたちが、自らの人生を切り拓いていくためにも、教育課程の改善・充実や特色のある学校づくりなど学校運営には、各々が主体性を持って対話に基づく相互尊重が求められます。

継続してこそ、信頼関係が築かれ、継続してこそ、成果が表れてきます。更には、立場を越えたつながりが生まれてくるはずです。

このようなことから、もう一度原点に戻り、「子どもたちに、今、必要なものは?」、「子どもたちに、今、必要な力は?」、「それぞれが何をすべきか?」…と互いに議論してみたいかがでしょうか。

主体性

信頼

共創

継続

つながり

進んでいます!「コミュニティ・スクール」の取組 地域の温もり感じる学校へ



学校・保護者・地域の代表が、学校の運営などを話し合うために設置される「学校運営協議会」。つつじが丘小学校・南中学校では、つつじが丘・春日丘自治協議会の中にある「子ども育成委員会」とも連携し、学校の課題や「目指す子どもの姿」などについて話し合い、互いの立場でできることを考えています。



「子どもたちのために何が出来るか」を地域全体で考え、実現していく。その過程の中で、子どもの「生きる力」を育み、地域の未来をも切り拓いていく。それが「コミュニティ・スクール」の取組です。
令和2年度には、市内全ての小中学校が「コミュニティ・スクール」となり、その活動は充実してきました。今号では、市内初の「コミュニティ・スクール」となった南中学校区の、地域貢献の取組の一つを紹介いたします。

◎ 教育総務室 63・7849

市内初となる南中学校区「コミュニティ・スクール」の取組

学習支援や学校美化、安全確保支援など、これまでも地域の皆さんに学校を支援いただけてきましたが、「コミュニティ・スクール」は、学校の教育方針や目標に向けて、地域住民が積極的にかかわる新しい仕組み。市内全ての小中学校には、教職員、保護者、地域住民などが思いを共有する場「学校運営協議会」が設置されています。市内初の「コミュニティ・スクール」となったのは、南中学校区(つつじが丘小学校・南中学校)。平成29年4月のことでした。南中学校区では小中一貫教育を実施していることから、「学校運営協議会」も一本化。また、平成30年には、子どもたちが自分たちの地域に誇りを持って語れることを目標に、生徒らと地域の代表が話し合う「つつじが丘子会議」が発足しま

した。「コミュニティ・スクール」の取組の一環として、ツツジの葉をイメージした地域のゆるキャラ「えみらる」を制作したり、子どもたちが地元イベントに出店し世代間交流を図ったりする事業に取り組み、文部科学大臣表彰も受賞。話し合われた内容が、次々に実現されています。

小学生考案の「お弁当」がスーパーで販売された!

昨年3月、つつじが丘小学校の近くのスーパーで、子どもたちが考案したお弁当が販売されました。その名も「えみらる風弁当」当。このお弁当もまた、「コミュニティ・スクール」の取組から生まれたものです。つつじが丘小学校の6年生は、家庭科の授業で「弁当」について学びますが、コロナ禍で調理実習が中止に。子どもたちからは、「調理実習の代わりに、新型コロナの

「コミュニティ・スクール」の取組で、子どもたちの地域への思いが詰まった心温まるお弁当が誕生!

※販売は終了しています



昨年3月に、団地内のスーパーで売り出された地域のゆるキャラがデザインされた子どもたち考案のお弁当。エビフライやからあげなど、子どもたちの好物がぎっしり詰まっていて、卒業生が菓子店とコラボして作ったきな粉入り「かたやき」も入っています!

ラベルには児童一人ひとりによる「コロナにうち勝て!!」などの手書きのメッセージが添えられ、子どもたちの地域を思う気持ちも一緒に詰められています。





教科書にはない「生きた学習」を

子どもたちは、自分たちが地域で取り組みたいことを考え、地域の人と一緒に「実現」に向けて活動していく。まさに、教科書では学ぶことができない「生きた学習」です。

学校運営協議会を通じて、民生委員児童委員、学校ボランティア、老人クラブなど、地域のいろいろな立場の人と「目指す子どもの姿」を共有しながらともに活動できるので、学習の幅もぐんと広がっていきます。

つづじが丘小学校 校長 上谷 典秀



感染が広がる中、地域の人が無気力になるような何かがあれば」といった提案がありました。

子どもたちが、授業でお弁当メニューのアイデアを考え、「コミュニティ・スクール」の取組として、そのお弁当を地元のスーパーで売り出すことができれば。栄養教諭の北中先生はそう考えました。

早速、「学校運営協議会」で、「コロナに負けず元気で笑顔になろうプロジェクト」として取り上げられ、6年生が考えたお弁当のアイデアを聞いてもらうと、学校の近くのスーパーに協力を打診。快く協力いただけることとなり、さらには、スーパーの総菜担当者によって、弁当のメニューを考えるうえで必要となる原価計算や色合い、人気の具材などについての授業も行われました。

子どもたちは、栄養バランスにこだわった「コロナに負けない弁当」や、名産品のいちごや野菜などを取り入れた地産地消弁当などアイデアを出し、地域の人やスーパーの担当者の前で、そのアイデアを発表。コストなどを考慮して「えみらる風弁当」が誕生しました。包装紙には「コロナに打ち勝て」などのメッセージも添え、昨年3月、実際にスーパーで売り出されることになりました。

一日限定15食、合計100食。そんな販売目標を掲げ、迎えた弁当販売日。弁当が売れるかどうか、子どもたちは不安だったそう。しかし、店頭には長蛇の列！あつという間に完売し、300食の追加注文が舞い込みます。子どもたちは、追加注文に驚き、喜びながら、

率先してお弁当の包装紙にメッセージを書き込んでいきました。

未来を生きる子どもたちが、少子高齢化、グローバル化、デジタル社会など激しい社会の変化に対応していくためにも、子どもたちの自ら学び考え行動する「生きる力」はますます重要となつていきます。「コミュニティ・スクール」の取組により、学校の中だけではなく、地域社会を舞台に子どもたちが活動することで地域に誇りを持ち、地域の人の温かさに触れる中で、「生きる力」も育まれているのです。

学校を核とした地域づくりに子どもたちの力を！

昨年12月、つづじが丘小学校で6年生と地域づくり組織との懇談会が開かれ、交通安全やごみ問題、空き家対策などについて話し合われました。児童は地域の課題を調べ、「ごみ拾いイベントの実施や「えみらる」をデザインした交通事故対策の反射材を作る」ことなどを提案。行政への要望や自治会での取組などが検討されることとなりました。

他の地域においても、子どもたちが、ひとり暮らしの高齢者に向けて、「コロナ禍を一緒に乗り越えよう」と、メッセージやプレゼントを作成して届けたり、「地域コミュニティの輪を広げる標語」を考えたり、支援する側として防災訓練に参加したり、「地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）」の充実に向けた取組が始まっています。



自分たちが取り組んだ成果が目に見えて現れる。そんな貴重な経験が自信に！

これまで手を挙げて発言しようとしなかった子が、地域の人たちとの学習や発表の場では、積極的に自分の考えを発表し始めたんです。これには驚かされたね。子どもたちの提案に対して、地域の人が、実現に向けて取り組んでいこうと真剣に話を聞いてくれるので、すごくやりがいを感じているんだと思います。

お弁当の販売をはじめ、自分たちが地域で取り組んだ活動が成果として見えることで、「やればできるんだ」という子どもたちの自信になっている。地域ぐるみでこうした取組が、「生きる力」を育んでいくことにもつながっていくはずですよ。

つづじが丘小学校 栄養教諭 北中 一枝



子どもたちが「地域のために」って、やる気になってくれるから、私どもも燃えてくる！

お弁当を作って売りたいと聞いた時は、「売れるかな」と心配していましたが、地域の皆さんが、子どもたちの思いに賛同して、たくさん購入してくれました。

子どもたちは、一生懸命に地域の課題を調べ、「交通安全を呼びかける看板を作りたい」「空き家や空き地を有効利用できないか」などと提案してくれます。子どもたちも、地域のために力を発揮してくれる一員であり担い手。私たちも一緒になって実現できないか考えます。子ども目線だからこそ気付けることもありますね。

それに、子どもたちの目は真剣そのもの。「地域のために」とやる気になってくれるから、私どもも自然と燃えてくるんです。

つづじが丘・春日丘自治協議会 理事 片山 榮二さん



市内の各小中学校でも、それぞれ「コミュニティ・スクール」の充実に向けた取組が進められています。市ホームページで、各校の取組を紹介した「コミュニティスクールだより」や「実践集」を掲載していますので、ぜひご覧ください。

教職員にとって



- ▶ 地域の皆さんの理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能になります。
- ▶ 地域の人の経験や知識・特技を学校教育に生かすことができます。
- ▶ 地域の協力により、子どもと向き合う時間が確保できます。

地域にとって



- ▶ 経験を生かした活動は、生き甲斐にもなります。
- ▶ 学校が社会的につながり、地域のよりどころになります。
- ▶ 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域課題の解決につながります。

コミュニティ・スクールの効果

保護者や地域住民が、子どもの教育に対する課題や目標を共有することで、学校を支援する取組が充実するとともに、関わる全ての人にさまざまな効果が広がっていきます。

子どもたちにとって



- ▶ 子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- ▶ 自分に自信が持てたり、人を思いやる心が育まれます。
- ▶ 地域の担い手としての自覚が高まります。
- ▶ 地域の人と顔の見える関係を築くことで、防災・防犯につながります。

保護者にとって



- ▶ 学校や地域に対する理解が深まり、家庭での教育にも良い効果が生まれます。
- ▶ 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。
- ▶ 保護者同士や地域の人との人間関係が築けます。

地域と子どもたちとの温かいつながりは名張だからこそ！ 今後の「コミュニティ・スクール」の取組に期待しています



地域おこし協力隊 長谷川 未紗さん

「学校と地域の懸け橋になりたい」との思いで、昨年4月に地域おこし協力隊(蕨原地区担当)として着任。情報発信などに取り組んでいます。

初めて蕨原小学校を訪ねた時のことです。「今日は何しに来たん?」「名前は何ていうの?」って、児童が積極的に話

しかけてきてくれました。東京では、「どんな人がいるか分からないから知らない人に声をかけないように」って教えていましたから、すごく驚きました。

移住して感じた名張の魅力は、地域の人が、親戚のおじちゃんやおばちゃんみたいに、子どもたちに接してくれる温かさ。学校が所有・管理する「学校林」での自然学習にも参加していますが、遊具の整備や維持管理なども含め、学校ボランティアの協力があってこそこの活動だと言えます。

こうした土地柄だからこそ、「コミュニティ・スクール」の取組は、これからもっと進化していくのではないかと期待しています。親としても積極的にかかわっていききたいですね。

令和4年度から

小中学校の夏休みを短縮し、土曜授業を廃止します

授業時間確保のために、令和4年度から、小中学校の夏季休業日を3日間短縮します(7月21日～8月28日)。

これに伴い、小中学校の土曜授業(令和3年度は4回実施)のあり方については、PTA・教職員などの各代表者・教育委員会関係者らで構成する「土曜授業検討委員会」で検討を重ねた結果、廃止することとしました。なお、防災訓練など、学校と地域とが一緒に行う行事は、振替授業として実施していきます。

☎ 学校教育室 ☎ 63-7882

登下校時の見守りや除草、クラブ活動への支援など 「学校生活支援ボランティア」を随時募集しています

登下校時の見守りや校舎の補修・除草、学校図書館・クラブ活動・教科学習への支援など、地域の皆さんの経験や知識・特技などを学校教育に生かしていただく「学校生活支援ボランティア」を随時募集しています。地域ぐるみで子どもたちを育てていきましょう!

◎詳しくは、問合せ先へ ☎ 学校ボランティア室(教育センター内) ☎ 64-8864

「放課後児童クラブ」の補助員を募集(学生可)

放課後児童クラブで、宿題や遊びの見守り、読み聞かせなどの支援をしていただけませんか。

登録資格 18歳以上(高校生は除く)

登録方法 市販の履歴書に写真を貼り、郵送または市役所1階子ども家庭室(〒518-0492 鴻之台1-1)へ ◎詳しくは問合せ先へ

☎ 子ども家庭室 ☎ 63-7594

令和4年度 市内小中学校の「学生教育サポーター」募集

小中学校などで教育活動を支援いただける大中学生を随時募集中です。自身の資質向上にも!

活動期間 下記の期間中の、決まった曜日

▼前期:4月6日～9月30日

▼後期:10月1日～令和5年3月25日

◎交通費など支給。詳しくは、問合せ先へ

☎ 学校教育室 ☎ 63-7882